

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	育児支援家庭訪問事業				方向性	継続	掲載頁	P 49	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	こども育成相談課			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1	第2次ちがさき男女共同参画推進プラン		2	みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン				
	3			4					
施策内容と目標	子育てに対する強い不安や孤立感などを抱える家庭、引きこもり等家庭養育上の問題を抱える家庭、児童養護施設等の退所後に家庭復帰のための自立に向けたアフターケアが必要な家庭、心身の発達に不安があり、将来精神・運動・発達面において児童に障害が生じるおそれのある家庭等に対して、育児面の専門的相談支援及び、ヘルパーによる家事・育児援助に関する相談、支援等を行います。								
指標	指標			現状値(H26)		目標値(R1)			
	保健師等、家庭児童相談員の訪問件数			年83件(H25)		年100件			
ヘルパーの家事・育児訪問件数			年127件(H25)		年140件				
年度目標	H27		H28		H29		H30		R1
	○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 70件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 90件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 70件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 90件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 70件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 90件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 70件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 90件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 70件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 90件
年度実績	○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 88件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 43件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 34件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 61件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 9件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 18件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 4件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 24件		○保健師等、家庭児童相談員の訪問件数 10件 ○ヘルパーの家事・育児訪問件数 75件
年度評価	A		C		C		C		C
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	養育支援が必要な家庭に家庭児童相談員による訪問支援及びヘルパーによる家事・育児支援を実施し、児童の適切な養育環境を確保した。		養育支援が必要な家庭に家庭児童相談員による訪問支援及びヘルパーによる家事・育児支援を実施し、児童の適切な養育環境を確保した。		養育支援が必要な家庭に家庭児童相談員による訪問支援及びヘルパーによる家事・育児支援を実施し、児童の適切な養育環境を確保した。		養育支援が必要な家庭に家庭児童相談員による訪問支援及びヘルパーによる家事・育児支援を実施し、児童の適切な養育環境を確保した。		養育支援が必要な家庭に家庭児童相談員による訪問支援及びヘルパーによる家事・育児支援を実施し、児童の適切な養育環境を確保した。
	(年度目標に対する取組以外) 家庭児童相談室にて育児に対する相談を受けている。		(年度目標に対する取組以外) 家庭児童相談室にて育児に対する相談を受けている。		(年度目標に対する取組以外) 家庭児童相談室にて育児に対する相談を受けた。		(年度目標に対する取組以外) 家庭児童相談室にて育児に対する相談を受けた。		(年度目標に対する取組以外) 家庭児童相談室にて育児に対する相談を受けた。
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率	
	C		本事業については、本人の希望のみをもって実施する事業でないこと、家庭の状況により支援の頻度が異なることなどから、毎年件数の増減があり、この5年間の実績は少ない状況であった。しかしながら、養育支援を必要とする家庭は長期的にみると増加傾向にあり、家庭等からの本事業利用のニーズをしっかりと捉えられるよう家庭児童相談室の相談体制を強化しながら、必要な家庭に適切な支援を行うことができた。引き続き、必要な家庭への適切な支援に努めていく。					35 %	

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	ファミリー・サポート・センター事業			方向性	拡大	掲載頁	P 49		
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	子育て支援課			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1	ちがさき男女共同参画推進プラン	2						
	3		4						
施策内容と目標		子どもを預かってくれる人(支援会員)、子どもを預かってほしい人(依頼会員)、両方したい人・できる人(両方会員)が会員同士で子育てを支援する相互援助活動を行います。また、会員に対して、子育て情報の提供も行うなど、安心して子育てができる環境づくりをめざし、機能強化を図ります。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	施設数		1か所(H25)		1か所				
	依頼会員数		2,488人(H25)		3,000人				
	支援会員数		501人(H25)		600人				
		両方会員数		402人(H25)		480人			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	1か所 2,680人 530人 440人	1か所 3,000人 545人 480人	1か所 3,200人 560人 470人	1か所 3,000人 550人 470人	1か所 3,000人 550人 480人				
年度実績	1か所 2,909人 535人 467人	1か所 2,924人 527人 443人	1か所 2,958人 534人 459人	1か所 2,946人 544人 470人	1か所 3,012人 557人 488人				
	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	R1の取組内容	
	各子育て支援センターでお試し預かりや出張説明登録会などを行い、利用者の拡大に努めた。また、年3回の支援会員研修会に合わせ、事業周知も兼ねたポスターの配布及び広報紙への周知記事掲載によって事業周知を図った。機能強化について、先行他市及び事業者への調査研究を行った。(年度目標に対する取組以外)年間9,105件の活動があった。		広報紙による活動案内と会員募集と支援会員養成研修会を行った。(年3回:6月、10月、2月)高齢者の支援会員の増強については、生涯現役窓口と連携し、相談者に支援会員のPRをもらった結果、年間登録者のうち18.5%が60歳以上となった。機能強化については、病児病後児預かり及びひとり親家庭等への利用料減免について聞き取り及び視察を行った。(年度目標に対する取組以外)年間8,480件の活動があった。(預かり対象年齢を超えた会員と転出等で連絡がとれない会員については年度末に退会手続きをしている。)		会員数増加に向けた取り組みとして、公共施設や市内幼稚園・保育園にポスター掲示を依頼したほか、広報紙や子育てポータルサイト「LeiAroha」を通じて事業についての周知を行った。また、各子育て支援センターでお試し預かりや出張説明登録会を行い、利用者の拡大に努めた。(年度目標に対する取組以外)年間8,849件の活動があった。		会員数増加に向けた取り組みとしては、市内の公共施設や幼稚園・保育園・児童クラブに会員募集のポスターの掲示の依頼のほか、小学校の新入学生全員に事業の案内チラシを配布していた。また、30年度は民生委員の勉強会で周知するなど、様々な所で周知を図っており、今後も引き続き、事業についての積極的な周知等、更なる会員数増加に向けた取り組みを行っていく。(年度目標に対する取組以外)年間8,954件の活動があった。		会員数増加に向けて、市内公共施設や市内掲示板、幼稚園・保育園・児童クラブに会員募集のポスター掲示を依頼したほか、小学校の新入学生全員に事業の案内チラシを配布した。また、出張説明会やお試し預かりを行い、初めての利用を検討されている方も足を運びやすい環境作りを行った。ホームページや広報紙も引き続き活用し、更なる周知に努めていく。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
引き続き事業の周知拡大に努めるとともに、機能強化について調査研究していく。		引き続き、高齢者を含む支援会員の増強を図り、機能強化について検討を進めていく		会員数の増加に向けて、より効果的な周知の方法を検討していく。		会員数の増加に向けて、より効果的な周知の方法を検討していく。		過去の実績と比較すると、支援会員数の目標値が少し高いため、実績に即した目標値とした。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合)達成率	99 %	
	A	会員数の目標値達成を目標に各園にポスター掲示を行うなど、積極的周知を行った結果、会員数増加につながった。また、出張説明会やお試し預かりも行き、安心してお子さんを継続的に預けられるような環境作りを行った。今後も引き続き、ファミリー・サポート・センターを利用する市民が安心して子育てができるよう、利用者拡大に向けた取組の検討を行っていく。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)				方向性	継続	掲載頁	P 49		
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	保育課				
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実								
関連計画	1		2							
	3		4							
施策内容と目標	保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校低学年児童を対象とし、地域の協力を得ながら、適切な遊び及び生活の場を提供してすこやかな育成を図ります。									
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)					
	施設数		27か所		27か所					
	児童数		1,269人		1,588人					
	開所時間の延長に係る取組		27か所		27か所					
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1					
	公設民営26か所・民設民営2か所 公設 1,300人 公設民営26か所・民設民営2か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,463人、民設45人 公設民営27か所・民設民営3か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,633人、民設45人 公設民営27か所・民設民営3か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,633人、民設120人 公設民営27か所・民設民営3か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,633人、民設120人 公設民営27か所・民設民営3か所					
年度実績	公設民営26か所・民設民営2か所 公設 1,300人、民設 17人(開設時) 公設民営26か所・民設民営2か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,463人、民設43人 公設民営27か所・民設民営3か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,544人、民設91人 公設民営27か所・民設民営3か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,540人、民設138人 公設民営27か所・民設民営3か所	公設民営27か所・民設民営3か所 公設 1,543人、民設155人 公設民営27か所・民設民営3か所					
年度評価	A	A	A	A	A					
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容	
	平成27年度から本格稼働した子ども・子育て支援新制度により、対象児童が小学校6年生にまで拡大したことに伴い、茅ヶ崎市においても、条例を改正し、6年生までの受入に対応した。 【学年別実績】(公設 4月1日現在) 1年生422人、2年生386人、3年生266人、4年生134人、5年生63人、6年生29人		公設児童クラブの質の向上を図るため、指定管理者選定を、これまでの一括から5ブロックに分割して実施した。民設児童クラブについては、広報の充実や事業者との情報交換会実施により、入所児童数増の支援を行った。 【学年別実績】(4月1日現在) 1年生(公)518人(民)14人、2年生(公)390人(民)4人、3年生(公)318人(民)9人、4年生(公)129人(民)15人、5年生(公)76人(民)1人、6年生(公)32人(民)0人		計画のニーズ量推計を上回る保育ニーズに対応するため、「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」を策定し、児童クラブ施設の整備だけでなく、長期休暇対策事業や小学校ふれあいプラザ事業の拡充等、多様な手法を活用しながら、安心・安全な放課後の居場所の確保及び待機児童の解消を図ることとした。 【学年別実績】(4月1日現在) 1年生(公)522人(民)33人、2年生(公)451人(民)16人、3年生(公)284人(民)19人、4年生(公)180人(民)12人、5年生(公)74人(民)11人、6年生(公)33人(民)0人		「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」に基づき、長期休暇対策事業実施場所の拡充、小学校ふれあいプラザ事業の開催日数増等に取り組み、安心・安全な放課後の居場所の拡充に努めた。しかしながら、待機児童は前年度に比べ急増していることから、民設民営児童クラブの設置等、ハード面での対応を重点的に取り組んでいく。 【学年別実績】(4月1日現在) 1年生(公)617人(民)27人、2年生(公)446人(民)34人、3年生(公)292人(民)35人、4年生(公)104人(民)29人、5年生(公)55人(民)9人、6年生(公)26人(民)4人		「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」に基づき、長期休暇対策事業実施場所の拡充、小学校ふれあいプラザ事業の開催日数増等に取り組み、安心・安全な放課後の居場所の拡充に努めた。また、待機児童解消のため、新たな民設民営児童クラブについて、4施設の公募を行い、3施設の運営事業者を決定した。今後もハード面での対応を重点的に取り組んでいく。 【学年別実績】(4月1日現在) 1年生(公)582人(民)22人、2年生(公)533人(民)33人、3年生(公)270人(民)43人、4年生(公)114人(民)28人、5年生(公)25人(民)24人、6年生(公)19人(民)5人	
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
	入所希望児童数の増加への対応策		中期的な整備計画の策定など入所希望児童数の増加への対応 民設児童クラブの定員充足に向けた支援		児童クラブ待機児童解消対策に基づく各施策の推進		児童クラブ待機児童解消対策の時点修正		保育需要の増加に伴い、児童クラブの定員増加(移転増設・2支援目開設)に取り組んだため。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合)達成率		
	A	平成26年度以降、待機児童が発生し、年々増加傾向にある中で、厳しい財政状況及び多様化する保育需要を踏まえ、29年度に「児童クラブ待機児童解消対策」を策定し、計画的な施設整備のほか、多角的な視点からの児童の放課後の居場所づくりに関する市の取り組みを定めました。また、令和元年度には、対策を時点修正し、保育需要が急増する小学校区での施設整備等を位置付けました。今後も早期の待機児童解消に向け、対策に位置付けた取り組みを推進します。					107 %			

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	子育て短期支援事業				方向性	継続	掲載頁	P 50
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	子育て支援課		
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実						
関連計画	1	ちがさき男女共同参画推進プラン	2					
	3		4					
施策内容と目標	保護者が病気などの理由で、家庭において子どもの養育が困難な場合、児童養護施設で一時的に養育する子育て短期支援事業(ショートステイ事業・トワイライトステイ事業)を実施します。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	実施施設数		1か所(H25)		1か所			
	利用日数		ショート(258日)、トワイライト(62日)(H25)		ショート270日、トワイライト80日			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	1か所 ショート(260日)、トワイライト(45日)	1か所 ショート(262日)、トワイライト(54日)	1か所 ショート(272日)、トワイライト(82日)	1か所 ショート(299日)、トワイライト(95日)	1か所 ショート(270日)、トワイライト(80日)			
年度実績	1か所 ショート(311日)、トワイライト(113日)	1か所 ショート(288日)、トワイライト(78日)	1か所 ショート(275日)、トワイライト(77日)	1か所 ショート(111日)、トワイライト(159日)	1か所 ショート(214日)、トワイライト(116日)			
年度評価	B	A	A	C	A			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	
	保護者が病気などの理由で、子どもの養育が困難な場合に、利用申請を受け付け、委託先の児童養護施設で預かりを実施しました。 (年度目標に対する取組以外)		保護者が病気などの理由で、子どもの養育が困難な場合に、利用申請を受け付け、委託先の児童養護施設で子どもの預かりを実施した。実利用人数は、周知を幅広く行った結果、昨年度よりも増加した。 (年度目標に対する取組以外)		保護者が育児疲れや共働きのため、子どもの養育が困難な場合に利用申請を受け付け、委託先の児童養護施設で子どもの預かりを実施した。 (年度目標に対する取組以外)		保護者が育児疲れや共働きのため、子どもの養育が困難な場合に利用申請を受け付け、委託先の児童養護施設で子どもの預かりを実施した。 (年度目標に対する取組以外)	
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	
	現状の利用状況、今後の利用のあり方について児童養護施設と意見交換する必要あり。		継続的に利用している方の家庭状況等については、ケースによって施設の担当者と情報を共有し、個々に適切な対応を行っていく。		家庭児童相談室のケースとなっている方の利用が多いため、引き続き利用状況について連携を取り、情報共有を行っていく。		ケースに対して適切な対応を行うため、引き続き、家庭児童相談室や児童養護施設の担当者と連携を取り、情報共有を行う。	
5年間の評価と総括	評価	(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率	94 %
	A	ショートステイ事業とトワイライトステイ事業の利用日数をトータルで考えると、概ね指標の目標値を達成できたものと考え。また、申請があったものについてはすべて対応することができている。今後も制度の周知に努めるとともに、家庭児童相談室等との連携や施設の担当者と情報を共有するなどし、引き続き適切な対応を行っていく。						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	子育て支援センター事業				方向性	拡大	掲載頁	P 50	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	子育て支援課			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1	茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画	2	第2次茅ヶ崎市食育推進計画					
	3	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	4	ちがさき男女共同参画推進プラン					
施策内容と目標	茅ヶ崎駅北口、茅ヶ崎駅南口、浜竹の計3か所の子育て支援センターが相互に連携を図りながら、子育て家庭に対する相談・情報提供を充実させます。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	施設数		3か所(H25)		4か所				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所				
年度実績	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	子育て及び子育て支援に関する講座の実施やつどいの広場を提供するほか、施設環境の整備をした。また、10月には香川駅前子育て支援センターを開設し、関係機関と連携しながら、円滑な運営を図り、安心して子育てできる環境整備に努めました。(年度目標に対する取組以外)		子育て及び子育て支援に関する講座の実施やつどいの広場を提供するほか、施設環境の整備をした。また、平成27年10月に開設した香川駅前子育て支援センターについては、市北部の子育て支援の拠点として安心して子育てできる環境整備に努めた。(年度目標に対する取組以外)		子育て及び子育て支援に関する講座の実施やつどいの広場を提供するほか、施設環境の整備をした。また市内に4か所ある子育て支援センターを集めた市との情報交換の場を設けるなど、相互連携を図った。(年度目標に対する取組以外)		子育て及び子育て支援に関する講座の実施やつどいの広場を提供するほか、施設環境の整備をした。また、ホームページのリニューアル等、周知に努めた結果、平成29年度に比べ利用者数が約3,300人が増加した。市内に4か所ある子育て支援センターを集めた市との情報交換の場を設けるなど、相互連携を図った。(年度目標に対する取組以外)		子育て及び子育て支援に関する講座の実施やつどいの広場を提供するほか、施設環境の整備をした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3月は閉館したが、電話相談業務を継続して行い子育て支援に努めた。(年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
安心してセンターを利用できるよう環境を整備していくほか、様々な相談に対処していけるよう引き続きセンター相互及び子育て関係機関との連携や情報共有を図る。また、香川駅前子育て支援センターの利用者支援事業の効果的な実施を図っていく。		安心してセンターを利用できるよう環境を整備していくほか、様々な相談に対処していけるよう、利用者支援事業を含み、引き続きセンター相互及び子育て関係機関との連携や情報共有を図る。		子育て支援センターを必要としている方に、幅広く利用していただけるよう周知を行っていく他、様々な相談に対処していけるよう、引き続き4支援センターの相互連携や情報共有を図る。		子育て支援センターを必要としている方に、幅広く利用していただけるよう環境整備及び周知を行っていく。また、子育て支援拠点としての相談支援・交流の場の提供を行うため、引き続き4支援センターの相互連携や情報共有を図る。			
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		
	A	平成27年10月に香川駅前子育て支援センターを開設し、市の北側にも子育て支援拠点ができることで、より多くの子育て世帯に対する相談体制の充実・子育てに関する情報提供の場を設けることができた。子育て中の方が利用しやすい場として、市内4か所の子育て支援センターが相互に連携を図りながら今後も事業を実施していく。香川駅前子育て支援センターの開所と同時に実施している利用者支援事業は、地域の子育て関係団体への支援や子育て中の方の相談の場として機能している。				100 %			

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	子育て相談業務の充実				方向性	継続	掲載頁	P 50	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	こども育成相談課			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1	第2次ちがさき男女共同参画推進プラン	2	みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン					
	3		4						
施策内容と目標	家庭児童相談室及びこどもセンターでは、育児に関する悩み・不安の相談をしやすいよう随時相談できる体制を整え、関係機関との連携を図りながら子育て相談の充実を図ります。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	相談日 家庭児童相談室の相談件数		週5日 543件		週5日 600件				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 600件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 600件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 600件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 600件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 600件				
年度実績	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 552件	○相談日週 5日 ○家庭児童相談室の相談件数 476件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 552件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 590件	○相談日 週5日 ○家庭児童相談室の相談件数 593件				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	家庭における人間関係の調整、児童の健全育成のための指導・助言を行うとともに、関係機関と連携をとりながら児童虐待の早期発見と支援に努めた。		家庭における人間関係の調整、児童の健全育成のための指導・助言を行うとともに、関係機関と連携をとりながら児童虐待の早期発見と支援に努めた。		家庭における児童の健全育成のための指導・助言を行うとともに、関係機関と連携をとりながら児童虐待の早期発見と支援に努めた。		家庭における児童の健全育成のための指導・助言を行うとともに、関係機関と連携をとりながら児童虐待の早期発見と支援に努めた。		家庭における児童の健全育成のための指導・助言を行うとともに、関係機関と連携をとりながら児童虐待の早期発見と支援に努めた。
	(年度目標に対する取組以外) 一時保護、法的介入等、より専門的な判断が必要な時は児童相談所に送致する。		(年度目標に対する取組以外) 一時保護、法的介入等、より専門的な判断が必要な時は児童相談所に送致する。		(年度目標に対する取組以外) 一時保護、法的介入等、より専門的な判断が必要な時は児童相談所に送致した。児童相談所から市に逆送致されるケースについて、モデル事業を実施した。		(年度目標に対する取組以外) 児童相談所と定期的にケースのすり合わせを行い、それぞれの対応を情報共有した。		(年度目標に対する取組以外) 児童相談所や保健所と定期的にケースのすり合わせを行い、それぞれの対応を情報共有した。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
	相談体制の維持と関係機関との連携を継続していくこと。		相談体制の維持と関係機関との連携を継続していくこと。		相談体制の維持と関係機関との連携を継続していくこと。		相談体制の充実と、関係機関との連携の強化		
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	99 %	
	A	職員や相談員の増員を行うとともに、児童福祉法改正を受け、「子ども家庭総合支援拠点」を平成30年度に設置するなど、相談室の機能の充実を図りながら、家庭における適正な児童養育に向けた相談支援を行うことができた。特に児童虐待については未然防止の取り組みが重要であり、年々、虐待に至る可能性のある要支援者の相談件数が確実に増えていることは、一定の成果につながっているものと考えている。今後も児童虐待の未然防止に重点を置き、適正な児童養育に向けた支援に注力していく。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	保育園における育児相談事業				方向性	継続	掲載頁	P 51
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	保育課		
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実						
関連計画	1		2					
	3		4					
施策内容と目標	保育園の保育士等が、地域の保護者の育児不安に対し、在園しているかどうかに関わらず、相談に応じます。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	実施施設数		全保育園(27か所)(H25)		全保育園			
年度目標	H27		H28		H29		H30	R1
	公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園30園の全認可保育園37園で実施する。(分園は本園と一体とする)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園32園の全認可保育園39園で実施する。(分園は本園と一体とする)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園31園の全認可保育園38園で実施する。(分園は本園と一体とする)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園33園の全認可保育園40園で実施する。(分園は本園と一体とする)	公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園35園の全認可保育園42園で実施する。(分園は本園と一体とする)
年度実績	37園		39園		38園		40園	42園
年度評価	A		A		A		A	A
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	R1の取組内容
	保育園の持つ専門的な機能を活かし、地域の保護者からの育児についてなど身近な相談に応じました。 (年度目標に対する取組以外)		保育園の持つ専門的な機能を活かし、地域の保護者からの育児についてなど身近な相談に応じました。 (年度目標に対する取組以外)		保育園の持つ専門的な機能を活かし、地域の保護者からの育児についてなど身近な相談に応じました。 (年度目標に対する取組以外)		保育園の持つ専門的な機能を活かし、地域の保護者からの育児についてなど身近な相談に応じました。 (年度目標に対する取組以外)	保育園の持つ専門的な機能を活かし、地域の保護者からの育児についてなど身近な相談に応じました。 (年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
次年度開設する園の実施も含めた全保育園での実施		全保育園での継続実施		次年度開設する園の実施も含めた全保育園での実施		次年度開設する園の実施も含めた全保育園での実施		
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	100 %
	A		保育園の持つ専門的な機能を活用し、在園しているかどうかに関わらず、地域の保護者からの育児についてなどの相談に応じました。新規園開園に伴い、実施園も増え、地域の身近な相談先となりました。今後も地域に開かれた保育園運営を推進していきます。					

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	地域育児センター事業				方向性	継続	掲載頁	P 51	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	保育課			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1		2						
	3		4						
施策内容と目標	保育園が専門的機能を活用して、地域に開かれた保育専門機関として、専門の相談員を招いた育児相談や、子育て家庭交流事業などの子育て支援事業を行います。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	実施施設数		14か所(H25)		17か所				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	認可保育所17か所で育児相談等の子育て支援事業を実施する。	認可保育所17か所で育児相談等の子育て支援事業を実施する。	認可保育所19か所で育児相談等の子育て支援事業を実施する。	認可保育所22か所で育児相談等の子育て支援事業を実施する。	認可保育所29か所で育児相談等の子育て支援事業を実施する。				
年度実績	17か所	19か所	22か所	27か所(認定こども園含む)		23か所(認定こども園含む)			
年度評価	A	A	A	A		C			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	公立保育園1園、公設民営保育園1園、民間保育園15園で実施。保育園の持つ専門的機能を活用し、地域において子育て支援事業を行った。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園1園、民間保育園18園で実施。保育園の持つ専門的機能を活用し、地域において子育て支援事業を行った。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園1園、民間保育園21園で実施。保育園の持つ専門的機能を活用し、地域において子育て支援事業等を行った。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園1園、民間保育園20園、認定こども園6園で実施。保育園の持つ専門的機能を活用し、地域において子育て支援事業等を行った。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園1園、民間保育園17園、認定こども園5園で実施。保育園の持つ専門的機能を活用し、地域において子育て支援事業等を行った。 (年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
子育て支援としての地域における保育園の役割は重要なものとなっており、次年度以降も更に実施箇所数の増加を図っていく。		子育て支援としての地域における保育園の役割は重要なものとなっており、事業実施園の継続とともに更に実施箇所数の増加を図っていく。		子育て支援としての地域における保育園の役割は重要なものとなっており、事業実施園の継続とともに更に実施箇所数の増加を図っていく。		子育て支援としての地域における保育園等の役割は重要なものとなっており、事業実施園の継続とともに、認定こども園を含めた実施箇所数の増加を図っていく。		新規園の開園や幼稚園の認定こども園移行に伴う、保育施設数の増加のため。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	135 %	
	A	保育園が地域に開かれた保育専門機関として、専門の相談員を招いた育児相談や、子育て家庭交流事業などの子育て支援事業を行いました。今後も、子育て家庭が不安や負担を抱え込むことなく、ゆとりを持って子育てができるよう、相談や情報提供を行い、保護者の育児負担の軽減を図る等の子育て支援を実施します。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	青少年教育相談事業				方向性	継続	掲載頁	P 51	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	教育センター			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	児童・生徒及び青少年が直面する問題及び不安や悩みの相談に対応し、健全育成、非行化防止及び自立を目指して、きめ細やかな相談活動を電話、面接、訪問等それぞれのケースに適した形で展開します。また、複雑化、多様化している相談内容について、心理学の研究的な視点を持ち、相談機能の質の向上を目指します。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	相談件数		2, 616件(H25)		2, 600件				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	相談件数 2, 793件	相談件数 2, 800件	相談件数 2, 800件	相談件数 2, 800件	相談件数 2, 800件				
年度実績	相談件数 2, 698件	相談件数 2, 686件	相談件数 2, 960件	相談件数 2, 805件	相談件数 2, 141件				
年度評価	A	A	A	A	C				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	適切かつ迅速、丁寧な対応による相談事業を心がけた。また、必要に応じて他の関係機関と連携をとり、ケース会等の開催により問題解決に向けた支援を行った。相談件数内訳、来所2, 280件、要請11件、訪問37件、電話370件。 (小学校937件、中学校1, 469件、その他292件)		適切かつ迅速、丁寧な対応による相談事業を心がけた。また、必要に応じて他の関係機関と連携をとり、ケース会等の開催により問題解決に向けた支援を行った。相談件数内訳、来所2, 215件、要請1件、訪問79件、電話391件。 (小学校788件、中学校1, 597件、その他301件)		適切かつ迅速、丁寧な対応による相談事業を心がけた。また、必要に応じて他の関係機関と連携をとり、ケース会等の開催により問題解決に向けた支援を行った。相談件数内訳、来所2, 490件、要請2件、訪問38件、電話430件。 (小学校934件、中学校1, 812件、その他214件)。相談内容としては、総件数に対し、不登校・ひきこもりが65%、性格行動上の問題が16%となっています。		適切かつ迅速、丁寧な対応による相談事業を心がけた。また、必要に応じて他の関係機関と連携をとり、ケース会等の開催により問題解決に向けた支援を行った。相談件数内訳、来所2, 374件、要請6件、電話425件。 (小学校956件、中学校1, 724件、その他125件)。相談内容としては、総件数に対し、不登校・ひきこもりが65%、性格行動上の問題が11%となっています。		適切かつ迅速、丁寧な対応による相談事業を心がけた。また、必要に応じて他の関係機関と連携をとり、ケース会等の開催により問題解決に向けた支援を行った。相談件数 2, 141件 内訳 来所相談1, 785件、電話相談356件 相談内容としては、総件数に対して、「不登校・ひきこもり 63%」「発達障害 11%」
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
	相談内容は複雑かつ深刻化しており、引き続き臨床心理士の資格を有する心理相談員の安定的な確保が求められる。		不登校傾向の児童・生徒の面談(来所)相談は、外出するという点で、継続的支援の難しさがあるため、学校、保護者、関連機関との連携が求められる。		不登校傾向の児童・生徒の面談(来所)相談は、外出するという点で、継続的支援の難しさがあるため、学校、保護者、関連機関との連携が求められる。		不登校傾向の児童・生徒の面談(来所)相談は、外出するという点で、継続的支援の難しさがあるため、学校、保護者、関連機関との連携が求められる。		青少年教育相談件数が増加傾向にあるため。
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	82 %	
	A	令和元年度は、空調工事による面接相談の制限、及び青少年会館閉鎖期間における面接相談の中止により、相談件数が目標に達しなかったが、その前年4年間は目標を達成することができた。相談事業としては、児童・生徒の健全育成、非行防止及び社会的自立を目指して、クライアントの直面する問題、悩み、不安等の相談に適切に対応し、支援することができた。また、必要に応じて他の関係機関と緊密な連携を図ることができた。今後も、相談者の不安や悩みに関する相談に適切に応じながら、児童・生徒の健全育成に支援していくこととする。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	ほしつ☆メソッド 「そだれん(ほめる・しかる・つたえる子育て練習講座)」の実施				方向性	継続	掲載頁	P 52	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	こども育成相談課			
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
関連計画	1	第2次ちがさき男女共同参画推進プラン	2	みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン					
	3		4						
施策内容と目標	児童虐待防止プログラム、「 commonsense・ペアレンティング(GSP)」を用いた「そだれんほしつ☆メソッド(ほめる・しかる・つたえる子育て練習講座)」を実施します。子どものしつけについて講義、ビデオ、ロールプレイを組み合わせた演習形式で講座を行うことで、親が「どのように子どもとコミュニケーションをとっていくか」という技術を身に付けることを支援し、児童虐待の防止を図ります。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	実施回数		年17クール(119回)		年19クール(133回)				
	受講者数		100人(H25)		114人				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	○実施回数 年18クール(126回) ○受講者数 100人	○実施回数 年20クール(90回) ○受講者数 100人	○実施回数 年14クール(30回) ○受講者数 100人	○実施回数 ①通常回 年8クール(40回) ②単回 年6クール(6回) ○受講者数 ①64人 ②60人	○実施回数 ①通常回 年8クール(40回) ②単回 年6クール(6回) ○受講者数 ①64人 ②60人				
年度実績	○実施回数 年17クール(119回) ○受講者数 83人(男性1人含む)	○実施回数 年20クール(70回) ○受講者数 147人(男性9人含む)	○実施回数 年20クール(40回) ○受講者数 188人(男性18人含む)	○実施回数 ①通常回 年8クール(40回)及び個別講座 ②単回 年6クール(6回)及び個別講座 ○受講者数 ①36人(男性0人) ②261人(男性34人)	○実施回数 ①通常回 年7クール(35回)及び個別講座 ②単回 年11クール(11回)及び個別講座 ○受講者数 ①33人(男性0人) ②113人(男性2人)				
年度評価	A	A	A	A	A			A	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	ほめる・しかる・つたえる子育て練習講座を実施し、子育てに対する不安や悩みを持つ親の支援や児童虐待の未然防止に十分な成果が出ている。プログラムを自作し、受講しやすく、実施しやすい内容にした。1回完結の入門講座に新たに「2歳児講座」を追加した(受講者88人)。		子育てに対する不安や悩みを持つ親の支援や児童虐待の未然防止に十分な成果が出ている。プログラムを自作し、受講しやすく、実施しやすい内容にした。1回完結の入門講座に新たに「2歳児講座」を追加した(受講者88人)。		子育てに対する不安や悩みを持つ親の支援や児童虐待の未然防止に十分な成果が出ている。プログラムを自作し、受講しやすく、実施しやすい内容にした。		子育てに対する不安や悩みを持つ親の支援や児童虐待の未然防止に十分な成果があった。公共施設への案内の配架等、積極的な周知に努めた。		子育てに対する不安や悩みを持つ親の支援や児童虐待の未然防止に十分な成果があった。また、より多くの方に受講いただけるよう公共施設への案内を配架したほか、様々なメディアを通じて積極的な周知に努めた。
	(年度目標に対する取組以外) 通常の子育て練習講座以外に父親を対象とする講座を実施した。受講者数146人(男性109人含む)。		(年度目標に対する取組以外) 通常の子育て練習講座以外に父親向け講座を実施、夫婦2組を含む9人が受講した。		(年度目標に対する取組以外) 通常の子育て練習講座以外に父親向け講座を実施、女性15人、男性25人が受講した。		(年度目標に対する取組以外) 通常の子育て練習講座以外に父親向け講座を実施、女性4人、男性17人が受講した。		(年度目標に対する取組以外) 通常の子育て練習講座以外に父親向け講座を実施、女性4人、男性17人が受講した。
次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
講座を継続していくこと。		プログラムをより簡易に受講でき、実施できる内容に更新していく必要がある。		講座の周知を図るとともに効果的な1クールの実施回数を検証すること。		・新任相談員による講座の円滑な運営		過年度の実績等を踏まえ、講座の対象者や開催回数を変更したため。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合)達成率	128 %
	A	より多くの方に受講していただけるよう開催形態の見直しを行うとともに、様々なメディアを通じて積極的な周知に努めた。関係機関等からの随時の開催依頼に対しても積極的に対応することで、より多くの子育て世帯に浸透し、育児負担軽減の効果があつた。新型コロナウイルス感染症への対策「新しい生活様式」等に沿って、その時々々の社会情勢に合った講座開催や情報発信の方法を検討し、実施していく。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	スクールソーシャルワーカー巡回相談事業				方向性	新規・継続	掲載頁	P 53
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	学校教育指導課		
	施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実						
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2					
	3		4					
施策内容と目標	いじめ・暴力行為などの問題行動や不登校への即時的・重点的な対応を行っていくために、社会福祉士等の専門的な資格を有するスクールソーシャルワーカーを配置します。各学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーによる相談・支援活動を実施し、児童・生徒が置かれた「環境」へ働きかけたり、児童相談所・警察等との関係機関とのネットワークを構築したりすることで、事案の早期解決を図ります。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	小中学校への派遣回数		年100回(H26年度目標値)		継続			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	年125回	年150回	年160回	年160回	年280回			
年度実績	年215回	年169回	年164回	年417回	年202回			
年度評価	A	A	A	A	A			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	
	学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣し、問題や課題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて、児童・生徒の問題行動等の予防や事案の長期化・重大化の防止を図りました。		学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣し、問題や課題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて、児童・生徒の問題行動等の予防や事案の長期化・重大化の防止を図りました。		学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣し、問題や課題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて、児童・生徒の問題行動等の予防や事案の長期化・重大化の防止を図りました。		学校への支援をより一層充実させるために、7月よりスクールソーシャルワーカーを拡充した。学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣し、問題や課題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて、児童・生徒の問題行動等の予防や事案の長期化・重大化の防止を図りました。	
	(年度目標に対する取組以外)		(年度目標に対する取組以外)		(年度目標に対する取組以外)		(年度目標に対する取組以外)	
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	
	児童・生徒指導担当教員とスクールソーシャルワーカーの連携を深めることにより、支援の必要な児童・生徒に対する対応をより迅速に行えるようにします。		児童・生徒指導担当教員及び教育相談コーディネーターとスクールソーシャルワーカーの連携を深めることにより、支援の必要な児童・生徒に対する対応をより迅速に行えるようにします。		児童・生徒指導担当教員及び教育相談コーディネーターとスクールソーシャルワーカーの連携を深めることにより、支援の必要な児童・生徒に対する対応をより迅速に行えるようにします。		スクールソーシャルワーカーを複数配置し、児童・生徒指導担当教員及び教育相談コーディネーターとの連絡を密にすることにより、支援の必要な児童・生徒に対する対応をより迅速に行えるようにします。	
							R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
							スクールソーシャルワーカーを拡充したため。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	%
	A	いじめ・暴力行為などの問題行動や不登校への即時的・重点的な対応を行うために、各学校からの派遣ニーズが高まっており、スクールソーシャルワーカーが、校内の支援体制を整理し、役割分担決定の一助を担うことで、問題や課題を抱える児童・生徒への迅速な対応を行うことができました。また、教員が一人で問題を抱え込んでしまうという課題の解消にもつながったと考えています。今後も小中学校に対して、継続的に支援を実施していきます。						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	巡回相談事業				方向性	継続	掲載頁	P 54
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	こども育成相談課		
	施策の方向	子育て支援のネットワークづくり						
関連計画	1	第3期茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	2					
	3		4					
施策内容と目標	こどもセンターの相談員・臨床心理士が保育園を巡回し、支援が必要と思われる子どもの特性理解・対応方法などを助言し、集団適応や発達促進を支援します。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	巡回相談回数		年417回(H25)		年500回			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	巡回相談実施回数 500回	巡回相談実施回数 450回	巡回相談実施回数 450回	巡回相談実施回数 259回	巡回相談実施回数 230回			
年度実績	巡回相談実施回数 462回	巡回相談実施回数 231回	巡回相談実施回数 230回	巡回相談実施回数 217回	巡回相談実施回数 250回			
年度評価	A	C	C	A	A			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	
	○子どもの発達に関わる相談を受けて助言等を行い、また、他の関係機関と連携して保護者の子どもの養育への疑問の解決や不安の軽減に成果が出ている。 ○市内認可保育園や幼稚園の保育の現場には、巡回相談を実施することで保育の現場での子どもへの支援の方法等を伝え、子どもの理解促進と関わり方の工夫に成果が出ている。		○子どもの発達に関わる相談を受けて助言等を行い、また、他の関係機関と連携して保護者の子どもの養育への疑問の解決や不安の軽減に成果が出ている。 ○市内認可保育園や幼稚園の保育の現場には、巡回相談を実施することで保育の現場での子どもへの支援の方法等を伝え、子どもの理解促進と関わり方の工夫に成果が出ている。		○子どもの発達に関わる相談を受けて助言等を行うことで、子どもの養育への疑問の解決や不安の軽減に成果が出ている。また、他の関係機関と連携することにより継続的な支援に繋がっている。 ○市内認可保育園や幼稚園の保育の現場に巡回することで、保育の現場での子どもへの支援の方法等を伝え、特性のある子どもへの理解と関わり方の工夫に成果が出ている。		○子どもの発達に関わる相談を受けて助言等を行い、また、他の関係機関と連携して保護者の子どもの養育への疑問の解決や不安の軽減に成果が出ている。 ○市内認可保育園や幼稚園の保育の現場には、巡回相談を実施することで保育の現場での子どもへの支援の方法等を伝え、子どもの理解促進と関わり方の工夫に成果が出ている。	
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	
	巡回相談事業を引き続き実施し、保護者の疑問の解決や不安の解消と保育の現場での子どもの理解促進の支援をする。		巡回療育相談員2名を確保し、巡回相談事業を引き続き実施することで保護者の疑問の解決や不安の解消と保育の現場での子どもの理解促進の支援をする。		巡回相談事業を引き続き実施することで保護者の疑問の解決や不安の解消と保育の現場での子どもの理解促進の支援をする。		巡回相談事業を引き続き実施することで、保育の現場において、特性のある子どもへの理解を深めると共に、養育していく上での保護者の疑問の解決や不安解消に努め、支援をする。	
5年間の評価と総括	評価	(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		50 %
	C	子どもの発達に関わる相談を受けて助言等を行い、また、他の関係機関と連携して保護者の子どもの養育への疑問の解決や不安の軽減に成果をあげることができた。平成28年度より一人の子どもに掛ける時間を十分に確保するとともに、巡回相談の質を上げるために、巡回相談の実施方法、一回の巡回で見ると対象児の見直しを図るとともに、必ず臨床心理士が同行することでより適切な助言ができるようになった。今後も対象児童の集団適応に関する環境づくり及び発達支援のため事業を継続していく。						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	子育て情報の収集・提供				方向性	継続	掲載頁	P 54	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	子育て支援課			
	施策の方向	子育て支援のネットワークづくり							
関連計画	1	第2次茅ヶ崎市食育推進計画	2	ちがさき男女共同参画推進プラン					
	3		4						
施策内容と目標	各種子育て支援サービスの情報を一元的にまとめた子育てミニマップや子育てガイドブックを作成するとともに市ホームページの充実を図ります。また、インターネットを活用した子育て関連情報の発信事業を充実させます。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	子育てガイドブックの発行 ポータルサイトの充実		隔年の発行部数20,000部(H25) 実訪問者数244人/日(H25)		隔年の発行部数20,000部 実訪問者数300人/日				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	0部(隔年の発行部数のため) 300人	20,000部 (ポータルサイトは協働終了)	0部(隔年の発行部数のため)	20,000部	0部(隔年の発行部数のため)				
年度実績	0部(隔年の発行部数のため) 371人	20,000部 (ポータルサイトは協働終了)	0部(隔年の発行部数のため)	20,000部	0部(隔年の発行部数のため)				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	子育てガイドブックについては26年度版に修正を加えるとともに、28年度版の発行に向けた準備を行った。子育てポータルサイト「FuBoLaboちがさき」については、コンテンツの見直しを行い、新コンテンツの追加などを行った。また、父親向けのイベントの開催したほか、手あそびの動画の配信などを行った。 (年度目標に対する取組以外) 子育てガイドブックは事業者を変更するため、プロポーザルを実施し、併せて版形や発行時期の変更、内容の拡充を行った。		子育てに関する情報を幅広くまとめた子育てガイドブック改訂版を民間事業者との協働で20,000部を作成し、子育て家庭の利便性の向上を図ることができた。 (年度目標に対する取組以外)		子育てガイドブックについては28年度版に修正を加えるとともに、30年度版の発行に向けた準備を行った。 (年度目標に対する取組以外)		協働業者との打合せを重ね、6月に子育てガイドブックを発行し、子育て世帯へのわかりやすい情報発信を行うことで、子育て家庭の利便性を図った。 (年度目標に対する取組以外) 子育て世帯への更なる情報発信の強化のため、情報発信に関する連携協定を3月に締結し、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」に、市の子育て関連施設やイベントに関する情報を掲載していくこととした。		子育てガイドブックについては事業者を変更するため、プロポーザル方式で業者を選定し、令和元年12月に協定を締結した。令和2年6月の発行に向けて内容の拡充を行った。 (年度目標に対する取組以外) 関係各課かいに情報提供を依頼し「いこーよ」に市の子育て関連施設やイベントに関する情報の掲載を行った。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
子育てガイドブックは平成28年6月の発行に向けて引き続き内容の精査を続けていく。子育てポータルサイトについては協働事業が終了した後のかかわり方について検討していく。		子育てガイドブックについては28年度版に修正を加えるとともに、30年度版の発行に向けた準備を行った。		子育てガイドブックについては28年度版に修正を加え平成29年4月に配布した。30年度版は平成30年5月の発行に向けて引き続き内容の精査を行った。		子育てガイドブックについては平成30年度版に修正を加えるとともに、事業者の選定も含めて、令和2年度版の発行に向けた準備を行う。		子育てガイドブックの発行は隔年発行のため、令和元年度は令和2年6月の発行に向けて準備を行った。	
5年間の評価と総括	評価				(5年間の総括)				
	A	子育てガイドブックについては、民間事業者と協働発行することで新たな企画を取り入れるなど内容の拡充を図ることができた。今後も内容の拡充を図りながら隔年で発行をしていく。ポータルサイトについても、平成29年度に「ちがさき子育て応援サイトLei Aloha」をオープンし、また、平成30年度には、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」の運営会社と連携協定を締結し、情報発信を行った。今後も引き続き子育て情報の発信に努めていく。				(数値目標がある場合)達成率		100%	

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	小学校ふれあいプラザ事業				方向性	拡大	掲載頁	P 56	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	青少年課			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画		2	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画				
	3			4					
施策内容と目標	放課後の安全な遊び場として学校施設を開放する、「小学校ふれあいプラザ事業」を実施し、児童の居場所を確保するとともに、ふれあいプラザ運営委員会への支援を行います。								
指標	指標			現状値(H26)		目標値(R1)			
	利用者数			26, 225人(H25)		32, 000人			
設置箇所数			18(H25)		19				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	31, 000人 19校	31, 200人 19校	31, 400人 19校	31, 700人 19校	32, 000人 19校				
年度実績	33, 618人 18校	36, 355人 18校	34, 270人 18校	34, 627人 18校	32, 186人 18校				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	<p>参加児童数は年間33,618人となり、開設校の全児童数に対し参加率は約2.88%だった。新規に児童の見守りを行うパートナー向けに研修会を2回、他プラザの見学会を2回実施。研修会では安全運営についての意見交換のほか、各学校で実施している学童クラブとの事業展開の方法や、個別事業についての情報交換を実施した。未開設校へは、開設に向け関係者と意見交換を実施。</p>		<p>参加児童数は年間36,355人となり、開設校の全児童数に対し参加率は約3.03%だった。新規に子どもの接し方について、講習を実施したほか、パートナー同士の情報交換会を1回、普通救命講習会を3日間、実施した。各学校で実施している学童クラブとの事業展開の方法や、個別事業についての情報交換を実施した。未開設校へは、開設に向け関係者と意見交換を実施。</p>		<p>参加児童数は年間34,270人となり、開設校の全児童数に対し参加率は約3.35%だった。講習を実施したほか、パートナー同士の情報交換会を1回、普通救命講習会を3日間、実施した。地域の方の活躍の場として、2箇所のプラザで見学会を開催し、地域の方がプラザに参加する流れを作ることができた。</p>		<p>参加児童数は年間34,627人となり、開設校の全児童数に対し参加率は約3.06%だった。研修会を1回実施したほか、パートナー同士の情報交換会を2回、普通救命講習会を2日間、実施した。体育館でのプラザだけでなく、図書室を利用して学習支援を開始する等、居場所の多様化が図られた。</p>		<p>参加児童数は年間32,186人となり、開設校の全児童数に対し参加率は約2.76%だった。未開設校については、既存の運営方法とは異なる運営について調査するため視察等を行ったが、開設には至らなかった。パートナー向けの研修として、子どもとの接し方、ゲーム指導の研修を各1回実施したほか、パートナー同士の情報交換会を2回、普通救命講習会を2回実施した。運営に関わる事務負担軽減の取組として、事業用携帯電話の契約を変更した。</p>
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
<p>研修会のアンケート結果で「児童との接し方」についての専門家より研修をしてもらいたい。意見が多かったので次年度実施を検討する。未開設校については、開設に向け、再度協議、調整する他、担い手を検討する。</p>		<p>研修会のアンケート結果で「児童との接し方」についての専門家から再度研修を実施してほしいとする意見が多かったので次年度実施を検討する。未開設校については、開設に向け、再度協議、調整する他、担い手を検討する。</p>		<p>担い手の減少がいくつかのプラザで課題となっているため、30年度は地域の担い手を紹介する機会を増やす方法を検討する。未開設校については、開設に向け、既存のプラザとは別の手法での運営についても検討する。</p>		<p>担い手確保のため、生涯現役応援窓口との連携を継続しているが、マッチングしたのちの継続に課題があることから、担い手の定着に向けた方策を検討する。未開設校については、開設に向け、既存のプラザとは別の手法での運営についても研究を進める。</p>			
5年間の評価と総括	(5年間の総括)								
	A	<p>平成26年度以前のパートナー向け研修会は普通救命講習のみだったが、子どもを見守るパートナーの能力向上のため、子どもとの接し方、ゲーム指導等の専門家に講演を依頼したり、情報交換会を企画したりすることにより、事業内容の充実に努めた。児童クラブの待機児童解消対策の一策として、開催日の増加に取り組み、全プラザの延べ開催日数は、平成26年の1,707日から、令和元年度は1,998日まで増加した。また学習支援の開始等、居場所の多様化が図られた。今後も引き続き放課後の居場所の充実のため、開設日の増加に取り組みとともに、魅力ある居場所として事業内容の充実等に取り組んでゆく。</p>						(数値目標がある場合)達成率	101 %

小学校ふれあいプラザ事業 プラザ別参加率

プラザ名	H27参加率	H28参加率	H29参加率	H30参加率	R1参加率
プラザ今宿	2.263%	2.33%	2.56%	2.85%	2.50%
はますかプラザ	1.757%	1.73%	1.80%	1.40%	1.37%
プラザ松林	2.064%	2.42%	2.00%	1.70%	1.53%
プラザやなぎ童夢	2.174%	2.46%	2.05%	1.47%	1.02%
茅ヶ崎小学校ふれあいプラザ	5.682%	4.86%	4.64%	4.20%	2.81%
プラザ小和田	3.998%	3.59%	3.98%	4.30%	4.18%
西浜小学校ふれあいプラザ	3.619%	3.36%	3.67%	5.21%	3.70%
プラザグリーン	3.034%	3.42%	3.44%	3.56%	4.00%
プラザ浜之郷	4.872%	5.93%	5.20%	5.61%	3.95%
ふれあいプラザ室田	1.246%	1.95%	2.03%	1.52%	1.82%
プラザ小出	5.060%	4.50%	4.40%	3.16%	5.35%
プラザ東海岸	2.516%	2.62%	2.64%	2.19%	2.23%
プラザ浪小	2.710%	2.86%	3.41%	1.81%	1.47%
円小プラザ	7.837%	7.28%	7.47%	4.93%	4.44%
つるのこプラザ	2.031%	1.80%	1.00%	1.77%	1.14%
プラザ鶴が台	2.131%	3.42%	3.42%	3.44%	4.33%
プラザ汐見台	3.165%	3.40%	2.72%	3.12%	2.12%
プラザ梅田	2.189%	3.03%	3.92%	2.84%	2.29%
茅や子学習教室				2.30%	2.20%

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	青少年会館管理運営事業				方向性	継続	掲載頁	P 56
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	青少年課		
	施策の方向	子どもの健全育成						
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2	茅ヶ崎市スポーツ振興基本計画				
	3	第2次茅ヶ崎市食育推進計画	4	茅ヶ崎市健康増進計画				
施策内容と目標	青少年のすこやかな育成の場や居場所として活用されている青少年会館の実施事業等、運営内容の充実を図ります。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	利用者数		140, 887人(H25)		144, 000人			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	178, 000人	113, 000人	113, 000人	117, 000人	88, 000人			
年度実績	149, 058人	153, 116人	146, 160人	124, 970人 (海岸青少年会館はH30. 12月末まで)	79, 083人			
年度評価	A		A		A		B	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	R1の取組内容
	<p>海岸青少年会館において、上半期は既設の通常利用であったが、下半期は新規のプレハブ棟施設となったので、乳幼児、青少年に対応できる施設利用を行い、利用者の増加を図った。青少年会館においては、79の講座を開催し多くの参加者の増加を図った。また、卓球開放やトレーニング室利用者も増やす事が出来た。(年度目標に対する取組以外)</p> <p>施設に近い海、公園等を利用した施設以外でも対応できるよう取り組んでいく。</p>		<p>ものづくり等の様々な自主事業を155事業(青少年会館93事業、海岸青少年会館62事業)のほか、魅力ある事業展開を通じ、目標値を達成することができた。(年度目標に対する取組以外)</p> <p>いままでも連携した事業展開が少なかった育成担当、青少年会館、海岸青少年会館が一体となって「ちがさき青少年まつり2017」を開催した。</p>		<p>体験学習、物作り、自然観察等の様々な自主事業を129事業(青少年会館77事業、海岸青少年会館52事業)のほか、施設開放、地域交流事業等の事業を展開し、目標値を達成することができた。(年度目標に対する取組以外)</p> <p>公民館、障害福祉課等と連携し、青少年課3担当(育成担当、青少年会館、海岸青少年会館)による「ちがさき青少年まつり2018」を開催した。</p>		<p>体験学習、物作り、自然観察等の様々な自主事業を109事業(青少年会館69事業、海岸青少年会館40事業)のほか、施設開放、地域交流事業等の事業を展開し、目標値を達成することができた。(年度目標に対する取組以外)</p> <p>平成30年12月に海岸青少年会館が閉鎖されたため市内唯一の青少年会館になった。今後の青少年会館のあり方について取りまとめた。</p>	<p>体験学習、物作り、自然観察等の様々な自主事業を60事業のほか、施設開放、地域交流事業等の事業を展開した。空調工事により5月21日～6月16日、新型コロナウイルスまん延防止として3月3日～31日臨時休館したことや、臨時休館中に予定していた教室等13事業が中止になったことが、目標を達成できなかった一因と考えられる。(年度目標に対する取組以外)</p> <p>「青少年の居場所づくり」の観点から、時代のニーズに合ったあり方について検討した。</p>
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
<p>海岸青少年会館は、プレハブ棟の新規施設となったので、魅力ある施設事業を工夫し活性化していく。青少年会館では、さらに充実した講座の開催及び利用者利用しやすい環境づくりに努める。</p>		<p>青少年会館は、事業内容等の精査を図り、魅力ある事業づくりに取り組む。</p> <p>海岸青少年会館は、平成31年1月に控える(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設への移転に向けて、既存事業に加えて、多世代交流事業等にも取り組む。</p>		<p>海岸青少年会館が平成30年12月に閉鎖し、31年1月から(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設に移行し、青少年会館が1館体制になることから、青少年会館の在り方を検討するとともに、新たな施設の事業運営について軌道に乗るよう取り組んでいく。</p>		<p>年度末に取りまとめた「青少年会館のあり方」に基づき自主事業を検討していく。なお上段の会館利用者数は来年度より十間坂の数字のみになる。</p>	<p>R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由</p> <p>海岸青少年会館との合計数が十間坂1館の数値になったことと5月20日から6月17日までが空調改修工事による休館日のため。</p>	
5年間の評価と総括	(5年間の総括)							
	A	<p>年度実績については、海岸青少年会館が(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設に移行する間、利用可能数が極端に減少したプレハブ棟での閉鎖となったが、年度より目標を実績に合わせてながら設定し、平成30年度まではA評価となった。平成30年12月に海岸青少年会館が閉鎖されたため市内唯一の青少年会館になったことを機に、今後の青少年会館のあり方について取りまとめた。令和元年度より、このあり方に基づきながら、1回で終わる教室だけでなく継続して1つのことを学べる通年講座の新設や、平成31年1月に新規オープンした茅ヶ崎公園体験学習センターとの連携事業を実施した。今後は、新型コロナウイルスまん延防止対策をしながら、来館しなくてもご参加いただけるオンライン等の自主事業も検討していく。</p>						(数値目標がある場合) 達成率

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	保育園の園庭開放				方向性	継続	掲載頁	P 56	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	保育課			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1		2						
	3		4						
施策内容と目標	保育園の園庭を開放し、身近で安全な遊び場を提供します。								
指標	指標			現状値(H26)		目標値(R1)			
	実施施設数			20か所(25)		22か所			
年度目標	H27		H28		H29		H30		R1
	22か所		24か所		25か所		26か所		30か所
年度実績	24か所		25か所		26か所		30か所		30か所
年度評価	A		A		A		A		A
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園17園で実施。地域に安全な遊び場を提供しました。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園18園で実施。地域に安全な遊び場を提供しました。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園18園、保育所型認定こども園1園で実施。地域に安全な遊び場を提供しました。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園18園、認定こども園5園で実施。地域に安全な遊び場を提供しました。 (年度目標に対する取組以外)		公立保育園6園、公設民営保育園1園、民間保育園18園、認定こども園5園で実施。地域に安全な遊び場を提供しました。 (年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
次年度開設する園での実施		事業実施園の増加		事業実施園の増加		事業実施園の増加		新規園の開園や幼稚園の認定こども園移行に伴う、保育施設数の増加のため。	
5年間の評価と総括	評価			(5年間の総括)				(数値目標がある場合)達成率	136 %
	A			保育園が園庭開放を実施し、地域の子育て家庭同士の交流及び情報交換の場を提供しました。これにより、子育ての喜びや楽しみを共有できる仲間や援助者など地域とのつながりづくりを推進することができました。新規園開園に伴い、実施園も増え、より身近な遊び場となりました。今後も保育施設を地域に開放し、地域との交流に努めます。					

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	子どもの読書活動の推進				方向性	継続	掲載頁	P 57	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	図書館			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画		2					
	3			4					
施策内容と目標	子どもの心のすこやかな発達の支援として、読書活動を推進します。乳児期から本を楽しむ環境づくりと、本を通じた親子のふれあいをめざしブックスタート事業を行います。								
指標	指標			現状値(H26)		目標値(R1)			
	対象児へのブックスタートパック配布率			79.1%(H25)		85%			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	1,800パック(対象者の80%)	80%	80%	80%	80%				
年度実績	1,498パック (対象者の79%)	77.05%	73.62%	76.17%	64.23%				
年度評価	A	A	A	A	B				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	こども育成相談課での家庭訪問時にブックスタートパックを手渡しできるように連携。チェックリストを作成し連絡事項がスムーズに行えるようにした。(年度目標に対する取組以外)		保護者に絵本の魅力をよりよく伝えられるよう、定例会において絵本の薦め方の研究を行った。 (年度目標に対する取組以外)		配布絵本の選定見直しを行った。 (年度目標に対する取組以外)		ボランティア研修とボランティア募集を行い、新たなボランティアが14人増えた。香川分館でもブックスタートパックの配布を可能とした。 (年度目標に対する取組以外)		ボランティアの定例会の時間を活用して、意見交換や課題解決等のグループワークを行い、情報共有やスキルアップを図った。年度末に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた3月の事業3回が中止となり、図書館再開後の取組方法について検討を行い、事前予約制で図書館本館・香川分館で対応することにした。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
配布絵本の選定		平成29年10月からの会場変更に伴う調整等		ブックスタート事業のボランティアの募集と研修		ボランティアと一緒にいる定例会の工夫		第4次実施計画と異なっているため、同一に変更しています。	
5年間の評価と総括	評価	(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率		87%
	A	絵本の読み聞かせを行いながら、絵本を直接手渡すことで、乳幼児期から本に親しむ環境づくりと本を通じた親子のふれあいのきっかけとなっており、親子で図書館を利用する姿も見られます。また、平成30年度のボランティア研修の成果によりスキルが向上し、ボランティアの人数も増えたため、余裕をもって参加者に接することができるようになりました。また、7か月児すくすく育児相談の担当課の健康増進課とも連携して実施することができました。令和元年度末から発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、会場での事業中止、図書館休館が余儀なくされました。今後、現在の実施方法以外での新たな対応方法の検討が必要と思われます。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における子ども向け事業の開催	方向性	継続	掲載頁	P 58
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			
	施策の方向	子どもの健全育成			
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2		
	3		4		
担当課	社会教育課(小和田公民館)				

施策内容と目標 公民館で、子ども向けの講座などを行います。

指標	指標	現状値(H26)	目標値(R1)
	講座数	21 (H25) (5公民館合計数)	21 (5公民館合計数)

	H27	H28	H29	H30	R1
年度目標	子ども向け事業を6事業実施する	子ども向け事業を4事業実施する	子ども向け事業を6事業実施する	子ども向け事業を8事業実施する	子ども向け事業を5事業実施する

	子ども向け事業 7事業	子ども向け事業 5事業	子ども向け事業 6事業	子ども向け事業 8事業	子ども向け事業 5事業
--	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

	A	A	A	A	A
--	---	---	---	---	---

	H27の取組内容	H28の取組内容	H29の取組内容	H30の取組内容	R1の取組内容
取組状況	<p>火山学者と火山を作る講座や、エコ石けんの作成講座、樹木教室など、自然体験や環境に関する講座を実施しました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 夏休みには、スポーツ体験として、毎年実施している卓球だけでなく、サッカー体験も実施しました。</p>	<p>食育に興味をもてるよう開催をした「子どものクッキング」や松浪小学校の体育館を利用した「スポーツチア」、「ジャイロゴマを作ろう」では、夏休みに電子工作教室を行いました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 放課後のこどもの居場所作りとして、「放課後シネマランド」を4回実施し、放課後の子ども達のべ53人の参加がありました。</p>	<p>平成28年度と同様「子どものクッキング」を実施しました。また「公民館おそうじ隊」では、身近な公民館の大掃除や障子張りを体験し、環境や日本の文化を学ぶ機会を設けました。6事業で、のべ451人の参加がありました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>	<p>公民館お掃除隊や子どもシネマランド等の例年実施している事業に加え、新たに障害への理解を深める「サウンドテーブルテニス」や、多世代との交流も行った「入門囲碁」等、全部で8つの講座を実施し、様々な学習・体験の機会を設けました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>	<p>例年実施している事業だけでなく、ボランティア意識向上を図る「マジックを披露してデイサービスボランティア」や「かけっこ教室」「ぼうさい探検隊」等、新たな事業を毎年工夫しながら実施し、様々な学習・体験の機会を設けました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 本事業以外にも子ども同士の交流や親子の交流等、多くの子ども向け事業を実施しています。</p>

	次年度に向けての検討事項	次年度に向けての検討事項	次年度に向けての検討事項	次年度に向けての検討事項	R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
	継続的に子どもが様々な体験をできる子ども向け事業とともに、親子で参加できる事業を行う。	工作等の体験できる事業を引き続き実施するとともに、防災や障害への理解など社会生活に必要な体験の機会も提供していくことを検討します。	子どもが自主的に参加できる事業や、障害を理解する講座など、その子らしく生きることの大切さを理解し、共感力を育てることのできる事業の実施を検討します。	アンケート結果等を踏まえ、引き続き障害への理解や多様な世代と交流できるような事業を検討します。	現状値を維持することを目標値として設定しましたが、子ども向け事業に配慮して計画を推進した結果、微増しているものです。

	評価	(5年間の総括)		
5年間の評価と総括	A	<p>定期的を実施する事業だけでなく、毎年、事業を見直すことで子どもたちに多様な学習・体験の機会を提供できたと考えます。また、公民館だけでなく、学校や保育園、公民館の利用団体など、地域の多様な団体と協力・交流をし、子どもの健全育成を推進することができました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。</p>	(数値目標がある場合) 達成率	138 %

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における子ども向け事業の開催				方向性	継続	掲載頁	P 58	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(鶴嶺公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館で、子ども向けの講座などを行います。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座数		21(H25)(5公民館合計数)		21(5公民館合計数)				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	4	3	5	3				6	
年度実績	3	5	6	4				6	
年度評価	C	A	A	A				A	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	「子どもの広場」や「放課後広場」等、ふれあいの場を設けたほか、「夏休み親子料理教室」や「自然の発見・観察探検」等、様々な体験学習を経験させることで自立心を養うことが出来た。		「子どもの広場」、「放課後広場」や「夏休み親子料理教室」等様々な体験学習を経験させることで親子のふれあい、自立心を養うことができました。		「子どもの広場」、「放課後広場」や「夏休み親子料理教室」等の10講座で様々な体験学習を経験させることで親子のふれあい、自立心を養うことができました。		「子どもの広場」、「放課後広場」や「夏休み親子料理教室」等の10講座で様々な体験学習を経験させることで親子のふれあい、自立心を養うことができました。		昨年までの「小学生放課後広場」に替わり、「小学生放課後卓球ひろば」として気軽に卓球を楽しめるようにし、沢山の子どもたちが参加することができました。
	(年度目標に対する取組以外) 物語や劇、音楽を通して他人を思いやることや自分の良さに自信を持てるよう「自分が好き」をテーマとした「おはなしコンサート」を開催。		(年度目標に対する取組以外) 幼少期の支援と教育力の向上を目指して、「おはなしコンサート」、「自然の発見・観察探検」、「夏休み小学校サークル体験」、「キッズ向けミニコンサート」、「小学生陶芸教室」と「おもしろ科学実験」を開催しました。		(年度目標に対する取組以外) 「海藻おしばづくり」は、地球環境、特に海の汚染を学びながら、多種類の海藻を自由にレイアウトして自分だけのおしばを作る。		(年度目標に対する取組以外)		(年度目標に対する取組以外) 新規講座として、「オモンロ音あそび」「リニア見学センターに行こう」「ぼうさい探検隊」を企画実施し、子どもたちへ新たな体験を提供できました。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
	事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		児童クラブの入所者や、習い事をする児童の増加に伴い、放課後、公民館を訪れる児童が減少傾向にあるため、放課後事業を精査します。		現状値を維持することを目標値として設定しましたが、子ども向け事業に配慮して計画を推進した結果、微増しているものです。
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		138 %
	A	定例的に実施する事業だけでなく、毎年、事業を見直すことで子どもたちに多様な学習・体験の機会を提供できたと考えます。また、公民館だけではなく、学校や保育園、公民館の利用団体など、地域の多様な団体と協力・交流をし、子どもの健全育成を推進することができました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における子ども向け事業の開催				方向性	継続	掲載頁	P 58	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(松林公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館で、子ども向けの講座などを行います。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座数		21(H25)(5公民館合計数)		21(5公民館合計数)				
年度目標	H27		H28		H29		H30	R1	
	子ども向け事業を4事業実施する		子ども向け事業を4事業実施する		子ども向け事業を5事業実施する		子供向け事業 7事業	子供向け事業 9事業	
年度実績	子供向け事業 4事業		子供向け事業 3事業		子供向け事業 6事業		子供向け事業 7事業	子供向け事業 10事業	
年度評価	A		C		A		A	A	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	R1の取組内容	
	「夏休みサークル体験」では、公民館を利用する多くのサークルに協力をいただき、子ども達が様々な体験学習を行いながら、地域の大人との交流を深める機会とできました。また、夏休みには「子ども囲碁教室」、冬休みには「冬休み子ども映画会」等の事業を実施しました。		雨天のため、「子ども自然観察会」が中止となりました。また、参加申込者が少なかったため、「夏休み子ども囲碁教室」が中止となりました。その他の事業については実施しました。 (年度目標に対する取組以外)		平成29年度と同様に子ども手話教室や子ども自然観察会を開催するとともに、「夏休み子ども卓球教室」では、通常の卓球開放とは異なり、スポーツとして卓球を専門家より学ぶ機会を設けました。 (年度目標に対する取組以外) 春休み企画として「子ども陶芸教室」を開催し、物づくりの基礎を学ぶとともに、多世代、異世代交流が図られました。		子ども手話教室や子ども自然観察会を開催するとともに、「夏休み子ども卓球教室」では、スポーツとして卓球を専門家より学ぶ機会を設けるとともに、近隣の中学生にボランティアとして参加してもらい、多世代・異世代の交流を図ることができました。 (年度目標に対する取組以外) 「松林児童合唱教室」を開催し、子ども達の公民館へ来館するきっかけづくりとしました。	「放課後子ども卓球教室」では放課後の子どもの居場所づくりの場を提供するとともに、スポーツとして卓球を専門家より学ぶ機会を設けました。 (年度目標に対する取組以外) 「ふじさわ・ちがさき交流カップ～こども将棋王位決定戦～」では他市の公民館と交流が図られました。	
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
	一部事業の参加者確保と、子ども向け事業協力者の育成。		一部事業の参加者確保と、子ども向け事業協力者の育成。		一部の事業については、引き続き参加者の確保を図るとともに、子ども向け事業の協力者の育成を推進することで、子どもや親子が継続的に参加できる主催事業を開催する。		引き続き参加者の確保を図るとともに、子ども向け事業の協力者の育成を推進することで、子どもや親子が継続的に参加できる事業を開催する。	現状値を維持することを目標値として設定しましたが、子ども向け事業に配慮して計画を推進した結果、微増しているものです。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合)達成率	138 %
	A		定例的に実施する事業だけでなく、毎年、事業を見直すことで子どもたちに多様な学習・体験の機会を提供できたと考えます。また、公民館だけでなく、学校や保育園、公民館の利用団体など、地域の多様な団体と協力・交流をし、子どもの健全育成を推進することができました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における子ども向け事業の開催				方向性	継続	掲載頁	P 58		
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(南湖公民館)				
	施策の方向	子どもの健全育成								
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2							
	3		4							
施策内容と目標	公民館で、子ども向けの講座などを行います。									
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)					
	講座数		21(H25)(5公民館合計数)		21(5公民館合計数)					
年度目標	H27		H28		H29		H30		R1	
	子ども向け事業を3事業実施する		子ども向け事業を6事業実施する		子ども向け事業を5事業実施する		子ども向け事業を5事業実施する		子ども向け事業を4事業実施する	
年度実績	子ども向け事業 7事業		子ども向け事業 5事業		子ども向け事業 5事業		子ども向け事業 4事業		子ども向け事業 3事業	
年度評価	A		A		A		A		A	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容	
	<p>「自然探検隊」、「子ども活動教室」、「夏休み子ども映画会」などの子どもの居場所づくりとなる事業を定期的実施した。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 工作や自然観察など、体験学習を行い、子どもたちが様々なものに関心を持つように努めた。</p>		<p>「自然探検隊」(2事業、参加者延べ28人)、「子ども活動教室」(2事業、参加者延べ71人)、「夏休み子ども映画会」(参加者54人)を開催し、子どもの居場所づくりとなる事業を定期的実施した。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 参加機会の公平性を図るために抽選申込を一部の事業で実施した。</p>		<p>「子どもの広場」(10事業、参加者延べ245人)、「自然探検隊」(参加者13人)、「ドキドキチャレンジ」(参加者25人)、「夏休み子ども映画会」(参加者32人)、「子ども活動教室」(3事業、参加者延べ78人)を開催し、子どもの居場所づくりとなる事業を定期的実施した。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 新規事業として、親子参加型の事業を実施した。</p>		<p>次の事業を開催し、学区や学年を越えた子どもの交流機会を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然探検隊」(参加者9人)うち1事業荒天のため中止 ・「夏休み子ども映画会」(参加者17人) ・「子ども活動教室」(2事業、参加者延べ70人) <p>(年度目標に対する取組以外) —</p>		<p>次の事業を小学生を対象に開催し、学校外での多様な体験の場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然探検隊」(2事業、参加者35人) ・「子ども活動教室」(2事業、参加者延べ36人)うち1事業は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止 <p>(年度目標に対する取組以外) —</p>	
	<p>次年度に向けての検討事項</p> <p>参加人数の限度のなかで、できるかぎり多くの子どもに機会を提供できるように募集方法を工夫する。</p>		<p>次年度に向けての検討事項</p> <p>新たな事業協力者の育成が必要。</p>		<p>次年度に向けての検討事項</p> <p>若い世代の協力者(高校生など)が求められる。</p>		<p>次年度に向けての検討事項</p> <p>「夏休み子ども映画会」の参加者が減少傾向にあるため、新たな事業展開を検討する。</p>		<p>R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由</p> <p>現状値を維持することを目標値として設定したが、子ども向け事業に配慮して計画を推進した結果、微増しているものです。</p>	
5年間の評価と総括	評価	(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率		138 %	
	A	<p>定期的実施する事業だけでなく、毎年、事業を見直すことで子どもたちに多様な学習・体験の機会を提供できたと考えます。また、公民館だけではなく、学校や保育園、公民館の利用団体など、地域の多様な団体と協力・交流をし、子どもの健全育成を推進することができました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。</p>								

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における子ども向け事業の開催				方向性	継続	掲載頁	P 58	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(香川公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館で、子ども向けの講座などを行います。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座数		21(H25)(5公民館合計数)		21(5公民館合計数)				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	7	5	3	2	4				
年度実績	7	3	2	5	5				
	A	C	C	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	「あそびの広場」や「かがわこれびプラザ」など子どもの居場所となる事業を定期的に開催した。また、「親子料理教室」や「おもしろ科学教室」など、こどもの教育的事業も複数開催している。		「夏のおはなし会」や「手づくり紙芝居教室」、「雑木林で遊ぼう」など、こどもの教育的事業を複数開催している。		「夏のおはなし会」や「おもしろ理科実験」など、こどもの教育的事業を複数開催している。		「夏のおはなし会」や「しめ縄リースを作ろう」など、こどもの教育的事業を複数開催している。		「保育園探検隊」や「しめ縄リースを作ろう」など、こどもの教育的事業を複数開催している。
	(年度目標に対する取組以外) 「夏休み自由広場」では、公民館のサークルや学校との連携を図っている。		(年度目標に対する取組以外) 「夏休み自由広場」では、公民館のサークルや学校との連携を図っている。		(年度目標に対する取組以外) 親子対象の講座や子ども同士の交流を目的とした講座を多数開催している。また、「夏休み自由広場」では、公民館のサークルや学校との連携を図っている。		(年度目標に対する取組以外) 親子対象の講座や子ども同士の交流を目的とした講座を多数開催している。また、「夏休み自由広場」では、公民館のサークルや学校との連携を図っている。		(年度目標に対する取組以外) 親子対象の講座や子ども同士の交流を目的とした講座を多数開催している。また、「夏休み自由広場」では、公民館のサークルや学校との連携を図っている。保育園と連携した「保育園出張のびのび広場」も開催した。
次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
参加人数の拡大と講座の質の向上		参加人数の拡大と講座の質の向上		参加人数の拡大と講座の質の向上		参加人数の拡大と講座の質の向上		現状値を維持することを目標値として設定しましたが、子ども向け事業に配慮して計画を推進した結果、微増しているものです。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		
	A	定例的に実施する事業だけでなく、毎年、事業を見直すことで子どもたちに多様な学習・体験の機会を提供できたと考えます。また、公民館だけではなく、学校や保育園、公民館の利用団体など、地域の多様な団体と協力・交流をし、子どもの健全育成を推進することができました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。				138 %			

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	青少年健全育成事業				方向性	継続	掲載頁	P 58
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	青少年課		
	施策の方向	子どもの健全育成						
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2					
	3		4					
施策内容と目標	青少年が社会参加しやすい環境を整備し、青少年団体が青少年育成団体と協力・連携して青少年の成長段階に応じた遊び体験・自然体験教室などを実施し、将来のジュニアリーダーを養成します。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	ジュニアリーダー養成講座開催数		4(H25)		4			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	4	4	4	4	4			
年度実績	6	5	6	6	5			
	A	A	A	A	A			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	
	ジュニアリーダー養成講座を6回開催し、ジュニアリーダーの養成、資質向上を図ることができた。 (年度目標に対する取組以外) 平成28年度ジュニアリーダー養成講座への登録数向上のため、12月に案内を発送し、3,4月で再度勧誘を行った。		ジュニアリーダー養成講座を5回開催し、ジュニアリーダーの養成、資質向上を図ることができた。8名のジュニアリーダーズクラブ登録につながった。 (年度目標に対する取組以外) 平成29年度の養成講座登録者を増やすため、案内チラシの改訂とHPの強化を行った。		ジュニアリーダー養成講座を6回開催し、ジュニアリーダーの養成、資質向上を図ることができた。宿泊研修に必要なスキル習得を宿泊研修直前に行い、研修の成果を發揮できた。 (年度目標に対する取組以外) 平成30年度養成講座登録者増加のため、庁内デジタルサイネージと広報紙に募集記事を掲載した。		ジュニアリーダー養成講座を6回開催し、ジュニアリーダーの養成、資質向上を図ることができた。講座の開始時期を早め、前年度のキャンプ事業やイン・リーダー研修から流れで参加できるように工夫し、延べ参加者を2倍にすることができた。 (年度目標に対する取組以外) 茅ヶ崎市シニアリーダーズクラブを講師にすることで、より実践的な内容とした。	
	R1の取組内容		ジュニアリーダー養成講座を5回開催し、ジュニアリーダーの養成、資質向上を図ることができた。前年度のキャンプ事業からリーダーとしての意識付けをし、参加者の取り組み意識を高めることができた。 (年度目標に対する取組以外) 受講者が増えたことで、プログラムの内容にも厚みが増えた。ジュニアリーダーズクラブ加入者数の増加につなげることができた。					
次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
研修の内容を青少年会館などで開催されるアウトドア講座への参加や市民団体を活用したふるさとを知る講座など魅力的なものに改善する。 自然体験教室、遊び体験教室に参加した新中学1年生及び現ジュニアや子ども会等による加入の周知を行う。		10月のジュニアリーダーズクラブ入会までに基礎知識やスキルを習得できるよう、各回の開催時期を見直す。自然体験教室・遊び体験教室参加者が養成講座受講に意識が向くようにする。		部活動が始まると養成講座参加率が下がるため、開催時期を早める。10月のクラブ入会までに講座を終了させる。 シニアリーダーズクラブを活用する。		受講者数を増やすため、広報・啓発活動を行い、ジュニアリーダーズクラブ活動を周知する。即戦力としてジュニアリーダーズクラブに入会できるよう、講座のプログラムを検討する。		
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率
	A	ジュニアリーダー養成講座の開催時期を調整したこと、キャンプ事業参加者(小学生時)にリーダーとしての意識付けを行ったことにより、受講者人数を増やすことができた。講座の内容についても、講師を務める茅ヶ崎市子ども会連絡協議会育成会、茅ヶ崎市シニアリーダーズ・クラブと協議し、受講後に即戦力として茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブに入会できるように取り組んだ。茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブの会員はH27年度4月20名から令和元年度10月44名と増員することにつながった。今後もジュニアリーダー養成講座受講者をさらに増やすため、キャンプ参加者への意識付け及び勧誘、広報紙等での参加者募集などの広報・啓発を丁寧に行う。また、茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブ入会時に即戦力として活動できるよう、プログラムの精査と受講者へのリーダーとしての意識付けをしていく。					125 %	

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	子ども会の活動支援				方向性	継続	掲載頁	P 58
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	青少年課		
	施策の方向	子どもの健全育成						
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2					
	3		4					
施策内容と目標	子ども会の活動内容を充実し、子どもの主体的な活動への参加と子ども相互の交流を深めます。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	子ども会交流事業の参加数		194人(H25)		194人			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	194人	194人	194人	194人	170人			
年度実績	168人	165人	152人	94人	39人			
	A	A	C	C	C			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	
	<p>子ども会交流事業の開催準備・財務会計事務を行った。 (年度目標に対する取組以外) ドッチビーのコート運営方法の見直しを行い、使用するラインテープの使用減、準備時間の短縮を達成した。</p>		<p>子ども会交流事業の開催準備・財務会計事務を行った。 (年度目標に対する取組以外) 熱中症対策のため、休憩と水分補給を徹底するよう努めた。</p>		<p>子ども会交流事業の開催準備・財務会計事務を行った。茅ヶ崎市子ども会連絡協議会加入の子ども会及び子ども会入会の子ども数が減少しているため、総合計画第4次実施計画では、目標値の見直しをしている。 (年度目標に対する取組以外) プログラム、スケジュールを組み直し、事業が円滑に進むよう取り組んだ。</p>		<p>子ども会交流事業は、当初8月17日を予定していたが、酷暑のため3月27日に延期した。来年度は安全管理のため、開催時期を変更して開催する。 (年度目標に対する取組以外) 近年事業の参加に対する保護者の負担感が課題となっていることから、2事業を1事業にまとめて実施し負担軽減を行った。</p>	
取組状況	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	
	<p>当日のキャンセルが多いので、市子連を通じて注意を続ける。</p>		<p>ジュニアリーダーが参加しやすい時期の設定。 スムーズな運営のための、対戦表作りとスケジュール管理。</p>		<p>茅ヶ崎市子ども会連絡協議会役員、スタッフの負担軽減策を講じる。</p>		<p>茅ヶ崎市子ども会連絡協議会加入の単位子ども会が減少する中で、これまで広報紙での子ども会活動の紹介やラジオ番組での募集、全校への子ども会参加のチラシ配布等を実施してきたが、今後も参加者をどのように確保していくか、工夫が必要である。</p>	
5年間の評価と総括	評価	(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率	20%
	C	<p>子ども会交流会の対象が茅ヶ崎市子ども会連絡協議会に加入している単位子ども会会員に限られている中で会員の減少や、参加者が得やすい夏休み期間での開催が、酷暑の影響でできないことで、参加者が減少している。参加者増に向けた対象者の拡大と開催時期について茅ヶ崎市子ども会連絡協議会と協議をしていく。また、現在はスポーツを通じた交流としてドッチビー大会を開催しているが、子どもたちの参加意欲を高めるため、ニュースポーツやパラ競技、プロ選手等から指導を受けられるような企画も視野に入れて、検討していく。子ども会本来の姿である、子どもが主体となった異年齢間交流、地域における子育てが実現できるよう、子ども会の活動支援を行う。</p>						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における家庭教育支援の推進				方向性	継続	掲載頁	P 59	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(小和田公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館において家庭教育に関する教室・講座を開催します。								
指標	指標		現状値(H26)			目標値(R1)			
	講座数		15(H25)(5公民館合計数)			15(5公民館合計数)			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	家庭教育支援の事業を2事業実施する	家庭教育支援の事業を5事業実施する	家庭教育支援の事業を5事業実施する	家庭教育支援の事業を5事業実施する	家庭教育支援の事業を6事業実施する				
年度実績	家庭教育支援事業5事業		家庭教育支援事業5事業		家庭教育支援事業5事業		家庭教育支援事業7事業		
年度評価	A		A		A		A		
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	<p>普段子どもと過ごす時間が少ない父親を対象としたイクメン講座を年3回開催し、日頃公民館に来館しない世代の参加を得ました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 地域の団体と共催で家庭教育の支援を行いました。</p>		<p>初めての赤ちゃんをお持ちのお母さんを対象とした講座を開催し、子育ての孤立化を防ぎ交流できる機会としました。また、PTAとの共催事業においては、日ごろの不安をテーマとし、子どもの反抗期に関する講座を開催しました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 託児を設けた講座を開催することで、子育て世代の方が気軽に参加できるよう配慮しました。</p>		<p>お父さんと子どもと一緒に参加するイクメン講座「お父さんと革芸」講座を開催しました。また、平成28年度に好評であった「子育て支援講座」を、PTAの保護者の希望により、「反抗期、親と周りの接し方～うちの子、変わっちゃったの？」をテーマに講演会を行いました。5事業で、のべ407人の参加がありました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>		<p>「子どもの気持ちを理解する心を学ぶ」ことをテーマとして地域団体との共催による「子育て支援講座」や、父親と赤ちゃんのふれあいを深める「パパと一緒にダンス！ダンス！ダンス！」等、5事業を実施しました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>		<p>乳児と新米ママと一緒に参加する「ママ一年生サポート講座(2講座)」や、地域の関係団体と共催で小中学生の保護者を対象として実施した「子育て支援講座」等、参加者が交流できることにも配慮しながら7事業を実施しました。</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
地域のニーズも踏まえた事業を展開すること。		就学前の子どもを連れた子育て世代が通える事業を継続的に実施するとともに、子育て世代の父親が参加できる事業の検討も行っていきます。		家族が円満に過ごせるような家庭で実践できる学びの機会を設けると共に、子育て世代を対象とした事業、特に父親参加が得られる事業を引き続き検討してまいります。		アンケート等も参考にしながら事業を見直し、次年度は母親向け事業の拡充を検討します。		現状値を維持することを目標値として設定しましたが、社会情勢を踏まえた中で年度ごとの事業を計画した結果、大幅な増となったものです。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率	220 %
	A	家庭教育支援に係る事業については定例的な事業が多いですが、毎年内容に工夫を凝らしながら、親(保護者)が安心して子どもに家庭教育・しつけを施し、成長するための学びを支援するための拠点施設として家庭教育に関する学習の機会及び情報を提供できました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における家庭教育支援の推進				方向性	継続	掲載頁	P 59	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(鶴嶺公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館において家庭教育に関する教室・講座を開催します。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座数		15(H25)(5公民館合計数)		15(5公民館合計数)				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	3	4	3	4	4				
年度実績	4	3	3	4	4				
年度評価	A	C	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	親子や親同士のつながりと交流の場の提供を目的として「乳幼児講座」や「つるみね子育て講座」を開催したほか幼少年期の教育力の向上を目指して「親子でモノづくり講座」を実施した。(年度目標に対する取組以外) 「つるみね防災広場」を実施。親子で自然災害の危険や脅威を体験し、地域や家庭の防災対策を知るとともに迅速な対応が出来るようになることを目的とした。		親子や親同士のつながりと交流の場の提供を目的として「乳幼児健康相談」、「子育てしながらウクレレマスター」、「つるみね子育て講座:アロマテラピー」を開催しました。 (年度目標に対する取組以外) 親子で一緒に茶道の初歩を学ぶ機会を設けるため、「親子茶道教室」を開催しました。		親子や親同士のつながりと交流の場の提供を目的として「乳幼児健康相談」、「子育てしながらウクレレマスター」、「味噌づくり講座」を開催しました。 (年度目標に対する取組以外) 応急手当の知識や技術を身につけ、万が一の時に備えることを親子で学ぶことを目的に「親子で学ぶ救命講習会」を開催しました。		親子や親同士のつながりと交流の場の提供を目的として「乳幼児健康相談」、「子育てしながらウクレレマスター」、「味噌づくり講座」を開催しました。 (年度目標に対する取組以外)		親子や親同士のつながりと交流の場の提供を目的として「乳幼児健康相談」、「子育てしながらウクレレマスター」、「味噌づくり講座」を開催しました。 (年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		事業のPR方法を強化し参加人数を拡大させる		現状値を維持することを目標値として設定しましたが、社会情勢を踏まえた中で年度ごとの事業を計画した結果、大幅な増となったものです。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率	220 %
	A	家庭教育支援に係る事業については定例的な事業が多いですが、毎年内容に工夫を凝らしながら、親(保護者)が安心して子どもに家庭教育・しつけを施し、成長するための学びを支援するための拠点施設として家庭教育に関する学習の機会及び情報を提供できました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における家庭教育支援の推進				方向性	継続	掲載頁	P 59	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(松林公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館において家庭教育に関する教室・講座を開催します。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座数		15(H25)(5公民館合計数)		15(5公民館合計数)				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	家庭教育支援の事業を3事業実施する	家庭教育支援の事業を7事業実施する	家庭教育支援の事業を7事業実施する	家庭教育支援事業11事業	家庭教育支援事業11事業				
年度実績	家庭教育支援事業5事業	家庭教育支援事業5事業	家庭教育支援事業6事業	家庭教育支援事業11事業	家庭教育支援事業11事業				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	新たに「小児・乳児に対する応急手当講習会」、「夫婦で学ぶイクメン教室」、「子育て講座」等の事業を実施し、子育て中の若い世代に公民館を利用するきっかけとなる機会を提供できました。(年度目標に対する取組以外)		「夫婦で学ぶイクメン教室」、「子育て講座」等の事業については、子育て世代を中心に多くの方にご参加いただき、公民館を利用するきっかけとなる機会を提供できました。(年度目標に対する取組以外)		「ママのLet'sチャレンジ」ではヨガやハンドマッサージを継続的に開催するとともに、「夫婦で学ぶイクメン教室」では、子育て世代の夫婦を対象に「絵本の読み聞かせ」や「ベビーダンス」を開催しました。(年度目標に対する取組以外)		スキンシップの重要性を学ぶ「タッチコミュニケーション」やヨガ、ハンドマッサージを行う「ママのLet'sチャレンジ」等、様々な講座を通して子育て世代の母親のみではなく、父親も公民館へ来館するきっかけづくりを創出しました。(年度目標に対する取組以外)		「ママのLet'sチャレンジ」では子育て世代を対象とした編み物やスイーツ作りを開催し、「夫婦で学ぶイクメン教室」では、子育て中の父親と母親が共に参加しやすいベビーダンス等を開催しました。(年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
家庭教育に関わる事業協力者の育成		家庭教育に関わる事業協力者の育成		家庭教育に関わる事業協力者の育成		家庭教育に関わる事業協力者の育成		現状値を維持することを目標値として設定し、社会情勢を踏まえた中で年度ごとの事業を実施したものです。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		220 %
	A	家庭教育支援に係る事業については定例的な事業が多いですが、毎年内容に工夫を凝らしながら、親(保護者)が安心して子どもに家庭教育・しつけを施し、成長するための学びを支援するための拠点施設として家庭教育に関する学習の機会及び情報を提供できました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における家庭教育支援の推進				方向性	継続	掲載頁	P 59		
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(南湖公民館)				
	施策の方向	子どもの健全育成								
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2							
	3		4							
施策内容と目標	公民館において家庭教育に関する教室・講座を開催します。									
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)					
	講座数		15(H25)(5公民館合計数)		15(5公民館合計数)					
年度目標	H27		H28		H29		H30		R1	
	家庭教育支援の事業を3事業実施する		家庭教育支援の事業を4事業実施する		家庭教育支援の事業を5事業実施する		家庭教育支援の事業を6事業実施する		家庭教育支援の事業を6事業実施する	
年度実績	家庭教育支援事業4事業		家庭教育支援事業4事業		家庭教育支援事業5事業		家庭教育支援事業6事業		家庭教育支援事業6事業	
年度評価	A		A		A		A		A	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容	
	<p>「家庭教育支援講座」、「楽しい子育て講座」、「そだれん」、「乳幼児健康相談」などの家庭教育に資する事業を定期的に実施した。</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 家庭児童相談室や子ども育成相談課などと協力して実施した。</p>		<p>「家庭教育支援講座」(参加者延べ36人)、「楽しい子育て講座」(参加者延べ267人)、「そだれん」(参加者延べ18人)、「乳幼児健康相談」(参加者延べ43人)を開催し、家庭教育に資する事業を定期的に実施した。</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>		<p>「絵本とお話の時間」(11回、参加者延べ176人)、「楽しい子育て講座～わらべうたと絵本で遊ぼう～」(12回、参加者延べ340人)、「保育フリースペース～ひだまり～」(22回、参加者延べ418人)、「家庭教育支援講座～手づくり紙芝居教室 ほか2～」(3事業、参加者延べ45人)、「乳幼児健康相談」(6回、参加者延べ53人)</p> <p>(年度目標に対する取組以外) 新規事業として、親子で参加できる講座を実施した。また、事業実施にあたってボランティアサポーターの協力を得ながら実施した。</p>		<p>次の事業を開催し、保護者に対し学習の機会及び情報を提供した。</p> <p>・「絵本とお話の時間」(11回、参加者延べ152人) ・「わらべうたと絵本で遊ぼう」(12回、参加者延べ294人) ・「保育フリースペース～ひだまり～」(23回、参加者延べ296人) ・「手づくり紙芝居教室」(2回、参加者延べ30人) ・「ほしつ☆メソッド」(5回、参加者延べ9人) ・「親子で学ぶ救命講習会」(1回、参加者7人) ・「スマイリングママサロン」(3回、34人) ・「乳幼児健康相談」(6回、参加者延べ47人)</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>		<p>次の事業を開催し、保護者に対し学習の場を提供した。</p> <p>・スマイリングママサロン(3回、58人) ・ほしつ☆メソッド(10回、37人)うち2回中止 ・乳幼児健康相談(6回、45人)うち1回中止 ・手づくり紙芝居教室(2回、35人) ・わらべうたと絵本で遊ぼう(3回、72人) ・絵本とお話の時間(11回、102人)うち2回は中止</p> <p>※各中止理由は新型コロナウイルス感染拡大防止または台風のため</p> <p>(年度目標に対する取組以外)</p>	
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由	
	参加人数の増加		参加人数の増加		南湖地区以外の参加者の増		支援を必要とする方への参加促進		<p>現状値を維持することを目標値として設定しましたが、社会情勢を踏まえた中で年度ごとの事業を計画した結果、大幅な増となったものです。</p>	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	220 %		
	A		<p>家庭教育支援に係る事業については定例的な事業が多いですが、毎年内容に工夫を凝らしながら、親(保護者)が安心して子どもに家庭教育・しつけを施し、成長するための学びを支援するための拠点施設として家庭教育に関する学習の機会及び情報を提供できました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。</p>							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公民館における家庭教育支援の推進				方向性	継続	掲載頁	P 59	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	社会教育課(香川公民館)			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	公民館において家庭教育に関する教室・講座を開催します。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座数		15(H25)(5公民館合計数)		15(5公民館合計数)				
年度目標	H27		H28		H29		H30	R1	
	3		6		6		6	5	
年度実績	5		6		6		5	5	
	A		A		A		A	A	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	R1の取組内容	
	<p>「話し方講座～上手なほめ方叱り方」等の家庭教育を支援する講座を複数開催した。 (年度目標に対する取組以外) 子育てフリースペースである「かめさんのおうち」を月1回行い、居場所づくりを推進した。こども事業など、家庭教育支援を第一目的としない事業も多数行い、相互補完を図っている。</p>		<p>「子育て支援～賢脳・健脳・食育塾」等の家庭教育を支援する講座を複数開催した。 (年度目標に対する取組以外) 子育てフリースペースである「かめさんのおうち」を月1回行い、居場所づくりを推進した。こども事業など、家庭教育支援を第一目的としない事業も多数行い、相互補完を図っている。</p>		<p>「子育て支援講座～笑顔になれる育児講座」等の家庭教育を支援する講座を複数開催した。託児を設ける等の参加しやすい工夫も行っている。 (年度目標に対する取組以外) 子育てフリースペースである「かめさんのおうち」を月1回行い、居場所づくりを推進した。こども事業など、家庭教育支援を第一目的としない事業も多数行い、相互補完を図っている。</p>		<p>「子育て支援講座スマイリングママサロン」等の家庭教育を支援する講座を複数開催した。託児を設ける等の参加しやすい工夫も行っている。 (年度目標に対する取組以外) 子育てフリースペースである「かめさんのおうち」を月1回行い、居場所づくりを推進した。こども事業など、家庭教育支援を第一目的としない事業も多数行い、相互補完を図っている。</p>	<p>「保育園出張のびのび広場」等家庭教育を支援する講座を複数開催した。託児を設ける等の参加しやすい工夫も行っている。 (年度目標に対する取組以外) 子育てフリースペースである「かめさんのおうち」を月1回行い、居場所づくりを推進した。こども事業など、家庭教育支援を第一目的としない事業も多数行い、相互補完を図っている。</p>	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合)達成率		220%
	A		家庭教育支援に係る事業については定例的な事業が多いですが、毎年内容に工夫を凝らしながら、親(保護者)が安心して子どもに家庭教育・しつけを施し、成長するための学びを支援するための拠点施設として家庭教育に関する学習の機会及び情報を提供できました。今後も引き続き、事業内容が固定化することなく社会情勢の変化を捉えた中で事業を計画していきます。						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	公園の整備				方向性	拡大	掲載頁	P 60	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	公園緑地課			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市みどりの基本計画	2	茅ヶ崎市スポーツ振興基本計画					
	3		4						
施策内容と目標	子どもたちが安全で快適に遊べるよう、身近な場所に公園を整備するとともに、既存公園についても老朽化した遊具の改修等をすすめます。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	都市公園数		168ヶ所		199ヶ所				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	都市公園数170ヶ所	都市公園数174ヶ所 (提供公園:香川、元町)	都市公園数174ヶ所 (提供公園:香川、元町)	都市公園数176ヶ所 (提供公園:高田、赤松)	都市公園数178ヶ所 (出口町、甘沼向原)				
年度実績	都市公園数172ヶ所	都市公園数172ヶ所	都市公園数174ヶ所	都市公園数176ヶ所	都市公園数178ヶ所				
年度評価	A	B	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	借地公園整備 1ヶ所 1,060.52㎡		特定開発事業に伴う公園設置について事業者と継続的に協議を行った。		都市公園 3ヶ所 21,685.76㎡		都市公園 2ヶ所 1,737.88㎡ 未公告公園 1ヶ所 3,291.99㎡		都市公園 2ヶ所 2,079.78㎡ 都市公園拡張 1ヶ所 1,837.00㎡
	(年度目標に対する取組以外)		(年度目標に対する取組以外) 借地公園候補地の確保に向けた取組を実施した他、既存公園の施設改修を進めた。		(年度目標に対する取組以外) 借地公園候補地の確保に向けた取組を実施した他、既存公園の施設改修を進めた。		(年度目標に対する取組以外) 借地公園候補地の確保に向けた取組を実施した他、既存公園の施設改修を進めた。		(年度目標に対する取組以外) 借地公園及び青少年広場を都市公園とした。また、公園候補地の確保に向けた取組を実施した他、既存公園の施設改修を進めた。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
借地公園候補地の検討		借地公園候補地の検討		借地公園候補地の検討		借地公園候補地の検討		公園空白地等確保すべき地域が限定されたため。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		89 %
	A	子供たちが安全で快適に公園が利用できるよう、市職員による定期巡回、専門技術者による定期点検を行い、修繕等が必要な箇所について適切に対応を行いました。また、借地公園等を都市公園として買収及び整備を行い、子供たちが安全で快適に公園が利用できるよう取り組みました。今後も安全・安心、快適に公園が利用できるよう取り組んでまいります。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業				方向性	新規・継続	掲載頁	P 60	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	教育センター			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	親子がともに歩む子育て・子育てのよりよい環境づくりを支援するために、幼児期を中心として、思春期にわたる子どもの成長発達についての本質的な研究を進め、研究成果を研修の形で情報提供します。さらに、子どもの健全な成長発達のために鍵となる親や大人の関わり方について、具体的な啓発資料の作成準備に取りかかります。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等)		3件(H25)		基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等)2件				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件				
年度実績	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 3件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 3件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等) 2件				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	幼児期から思春期にわたる子どもの成長発達についての研究成果を生かした「シンポジウム・セミナー」を開催した。研究成果などの情報提供を積極的に行うため、3回の開催となった。		幼児期から思春期にわたる子どもの成長発達についての研究成果を生かした「シンポジウム・セミナー」を開催した。研究成果などの情報提供を積極的に行うため、3回の開催となった。		幼児期から思春期にわたる子どもの成長発達についての研究成果を生かした「シンポジウム・セミナー」を開催した。他の講座の開催状況と合わせてスケジュールを調整し、2回の開催となった。		幼児期から思春期にわたる子どもの成長発達についての研究成果を生かした「シンポジウム・セミナー」を開催した。他の講座の開催状況と合わせてスケジュールを調整し、2回の開催となった。		幼児期から思春期にわたる子どもの成長発達についての研究成果を生かした「シンポジウム・セミナー」を開催した。他の講座の開催状況と合わせてスケジュールを調整し、2回の開催となった。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
平成27年度同様、3回の開催を予定しているが、回数については今後も検討。		2回の開催を予定している。		2回の開催を予定している。		2回の開催を予定している。			
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	100 %	
	A	親子がともに歩む子育て・子育てのよりよい環境づくりを支援するために、幼児期から思春期にわたる子どもの成長発達についての本質的な研究を進め、研究成果の情報提供の場として「シンポジウム・セミナー」を開催した。参加者の感想等から、情報提供や環境づくりの取り組みが一定程度定着したと考えている。今後は、次期教育基本計画の策定を見据え、新たな展開に向けて改善に取り組んでいくこととする。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	「子どもの教育」講座・講演事業				方向性	新規・継続	掲載頁	P 60	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	教育センター			
	施策の方向	子どもの健全育成							
関連計画	1	茅ヶ崎市教育基本計画	2						
	3		4						
施策内容と目標	平成24年度から身近な地域に出向き、関係課かいや青少年教育団体と連携して開催する「子育て・子育て出前講座」を引き続き開催し、地域の教育力の向上を支援します。これらの講座・講演事業は、「幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業」の研究成果を生かした講座・講演事業として実施します。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	講座講演参加者数		526人(H25)		講座講演参加者数620人				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 600人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 600人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 600人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 600人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 600人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 600人			
年度実績	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 647人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 741人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 630人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 638人	講座講演参加者数(子育て講座、子育て出前講座、教育講演会) 495人				
年度評価	A	A	A	A	A				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	「幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業」の研究成果を生かした講座・講演事業として開催した。身近な地域に出向き、関係課かいや青少年育成団体と連携して開催した「子育て・子育て出前講座」、市役所を会場に開催した「子育て・子育て講座」「教育講演会」では、多くの方の参加があった。		「幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業」の研究成果を生かした講座・講演事業として開催した。身近な地域に出向き、関係課かいや青少年育成団体と連携して開催した「子育て・子育て出前講座」、市役所を会場に開催した「子育て・子育て講座」「教育講演会」では、多くの方の参加があった。		「幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業」の研究成果を生かした講座・講演事業として開催した。身近な地域に出向き、関係課かいや青少年育成団体と連携して開催した「子育て・子育て出前講座」、市役所を会場に開催した「子育て・子育て講座」「教育講演会」では、多くの方の参加があった。		「幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業」の研究成果を生かした講座・講演事業として開催した。身近な地域に出向き、関係課かいや青少年育成団体と連携して開催した「子育て・子育て出前講座」、市役所を会場に開催した「子育て・子育て講座」「教育講演会」では、多くの方の参加があった。		「幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業」の研究成果を生かした講座・講演事業として開催した。身近な地域に出向き、関係課かいや青少年育成団体と連携して開催した「子育て・子育て出前講座」、市役所を会場に開催した「子育て・子育て講座」「教育講演会」では、多くの方の参加があった。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
子育て中の参加者が多いため、託児利用、同伴参加への対応。		子育て中の参加者が多いため、託児利用、同伴参加への対応。		子育て中の参加者が多いため、託児利用、同伴参加への対応。		幼児期の研究や、乳幼児期から思春期までにつながる研究情報を収集し、質の高い講座内容を設定していくこと。		事業見直しにより、講座開催回数を減らしたため。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	80 %	
	A	身近な地域に出向き、関係課かいや青少年教育団体と連携して「子育て・子育て出前講座」を開催し、地域の教育力の向上を支援するとともに、市役所を会場に「子育て・子育て講座」及び「教育講演会」を開催した。事業見直しにより、令和元年度には「子育て・子育て出前講座」の開催回数を減らしたが、関係課かいや青少年教育団体との継続的な連携体制を構築することができ、地域の教育力の向上や情報提供の取り組みが一定程度定着したと考えている。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名		放課後子ども総合プラン		方向性	新規・継続	掲載頁	P 61
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援		担当課	保育課/青少年課		
	施策の方向	子どもの健全育成					
関連計画	1		2				
	3		4				
施策内容と目標		共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備等を進めます。					
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)		
	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の整備量		なし		2箇所		
	一体的な、又は連携による実施に関する具体的な方策(イベントの共催・児童クラブ入所児童の放課後プラザへの参加)		23クラブ		27クラブ		
	小学校の余裕教室等の活用に関する具体的な方策(運営委員会の設置・開催) 教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策(運営委員会の設置・開催)		未設置 未設置		年3回 年3回		
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1		
	なし 15クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議2回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議2回	なし 20クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回	なし 20クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回	なし 20クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回	なし 20クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回	なし 20クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議1回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議1回	
年度実績	なし 19クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議1回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議1回	なし 19クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議3回	なし 19クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議2回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議2回	なし 19クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議1回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議1回	なし 19クラブ 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議0回 豊かな長寿社会に向けたまちづくりプロジェクト会議0回		
	C	A	C	C	C		
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		R1の取組内容
	校長会企画会やプロジェクト会議にて放課後子ども総合プランについて説明し、意見交換を行った。また、余裕教室等に移設する必要性が高いと考えられる児童クラブをピックアップし、これについてプロジェクトチーム内でアンケートを行い、移設に向けての課題の抽出を行った。(年度目標に対する取組以外)		利活用可能教室(余裕教室)を児童クラブに活用している自治体を視察するとともに、時限的に小学校内に移設することになった小和田児童クラブの課題を基に、学校施設利活用の課題を再検討した。また、学校施設利活用の方針について、校長会長及び教育委員に説明した。(年度目標に対する取組以外)		放課後子ども総合プランを具現化する取り組みとして「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」を策定し、児童クラブの施設整備だけでなく小学校ふれあいプラザ事業等の安心・安全な放課後の児童の居場所を拡充していくこととした。また、長期休暇対策事業の拠点として長期休暇中の鶴嶺小学校の教室の利用に向けた協議を行った。(年度目標に対する取組以外)		「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」に基づき、小学校ふれあいプラザ事業の開催日数の拡大に取り組みとともに、1校で週5日開催とすることができた。また、引き続き、長期休暇対策事業の拠点として長期休暇中の鶴嶺小学校の教室の利用を行い、利便性の向上等に取り組んだ。(年度目標に対する取組以外)
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)		達成率		70%
	C		「放課後子ども総合プラン」においては、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体型による実施を目指しているが、実施場所・運営母体が異なる中では、整備することができませんでした。また、学校教室の利活用については、「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」にも位置づけ、各学校との協議等も実施し、長期休暇中の利活用を実施することができました。今後は、児童クラブとして学校教室の利活用を目指し、引き続き教育委員会等と連携を図っていきます。		(数値目標がある場合)		70%

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	コミュニティ保育の支援				方向性	拡大	掲載頁	P 62	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	子育て支援課			
	施策の方向	世代間交流・市民活動の推進							
関連計画	1		2						
	3		4						
施策内容と目標	地域で自主的に子育て支援に取り組むボランティアグループ及び自主的に集団保育に取り組むコミュニティ保育グループ(子育てサークル)が、充実した活動が行えるように支援します。								
指標	指標			現状値(H26)		目標値(R1)			
	ボランティアグループ			7団体(H25)		10団体			
コミュニティ保育グループ			29団体(H25)		30団体				
年度目標	H27	H28		H29		H30		R1	
	8団体 29団体	8団体 29団体		9団体 27団体		11団体 24団体		10団体 24団体	
年度実績	8団体 28団体	8団体 27団体		9団体 26団体		10団体 24団体		9団体 20団体	
年度評価	A	A		A		A		B	
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	広報紙・HP等で補助金助成事業の周知をした。ボランティアグループとコミュニティグループを併せて、前年度と同程度の団体に助成した。 (年度目標に対する取組以外) 子育てポータルサイトでのサークル紹介ページの内容を変更し、より団体に利用しやすい形にした上で、各団体に周知を行った。		広報紙・HP等で補助金助成事業の周知をした。ボランティアグループとコミュニティグループを併せて、前年度と同程度の団体に助成した。 (年度目標に対する取組以外)		広報紙・HP等で補助金助成事業の周知をした。ボランティアグループとコミュニティグループを併せて、前年度と同程度の団体に助成した。 (年度目標に対する取組以外)		広報紙・HP等で補助金助成事業の周知をした。ボランティアグループとコミュニティグループを併せて、前年度と同程度の団体に助成した。 (年度目標に対する取組以外)		広報紙・HP等で補助金助成事業の周知をした。ボランティアグループとコミュニティグループを併せて、29団体に助成した。 (年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
引き続き広報紙・ホームページ等で補助金助成事業の周知を図るとともに、利用者支援事業や子育てポータルサイトとも連携して地域の子育て支援体制の拡充に努めていく。		引き続き広報紙・ホームページ等で補助金助成事業の周知を図る。		引き続き広報紙・ホームページ等で補助金助成事業の周知を図る。		引き続き広報紙・ホームページ等で補助金助成事業の周知を図る。		コミュニティグループについては、共働き世帯が増加していることもあり、会員数が減少しており、サークル数が減少しているため。	
5年間の評価と総括	評価			(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率	73 %
	C	共働き世帯の増加等により、コミュニティ保育グループへの参加が減少傾向にあり、指標の目標値を達成することができなかったが、広報紙やHPで周知を行い、地域で活動する団体に対し助成をすることができた。今後は、支援内容の見直しを行いながら団体の活動に対し支援を行っていく。							

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	特定不妊治療費助成事業				方向性	拡大	掲載頁	P 65
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	保健所 地域保健課		
	施策の方向	経済的負担の軽減						
関連計画	1		2					
	3		4					
施策内容と目標	不妊治療の経済的負担を軽減するため、医療保険が適用とならない配偶者間の特定不妊治療に要する費用の一部を助成します。県の特定不妊治療費助成事業に対する上乗せ事業です。							
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)			
	助成件数		153件(H25)		160件			
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1			
	230件	230件	160件	160件	160件			
年度実績	204件	154件	152件	163件	151件			
年度評価	A	C	A	A	B			
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容	R1の取組内容
	引き続き、市ホームページやチラシの配布により周知拡大に努めました。申請件数が前年度より大幅に増加した昨年度と比較すると、件数の伸びは減少しましたが、今年度も200件を超え、当初予算を超える助成を行いました。今後も予算の確保が課題になります。		引き続き、市ホームページやチラシの配布により周知拡大に努めました。申請件数が200件を超えていた前年度、前々年度から比較すると大幅に減少していますが、これは平成28年4月からの制度改正に伴う経過措置期間が終了したこと、平成28年1月から初回申請額の増額(15万円→30万円)があったことが影響していると思われます。		平成29年度より事務が保健所に移管されましたが、4月当初以外は大きな混乱なく事業を実施することができました。申請件数は前年度からほぼ横ばいであり、平成26年度・27年度の経過措置以前の水準と同等であることから、今後も同様に推移していくことが見込まれます。		保健所への事務移管2年目となり、特に支障なく事業を実施することができました。申請件数は前年度から微増となっていますが、直近3年間で大きな変化はなく、今後も同様に推移していくことが見込まれます。	周知強化の取組として、市民課、支所、子育て支援課にチラシ配布の協力依頼を行いました。また、神奈川県特定不妊治療支援事業の受付事務の際に、本事業の案内を行ったことで、安定的に取組を進めることができました。
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項	R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
県が年齢制限や男性不妊治療への助成、初回限度額の増額をしている中で、市の事業の内容について精査する必要があるため、県及び県内実施市町村の動向を把握していく必要があります。また、平成29年度の保健所設置に伴う事務委譲に向けた準備を進めていく必要があります。		県助成の年齢制限や初回限度額の増額により、申請件数及び助成額の大幅な減少が見られたため、今後近隣他市の動向を見ながら適切な制度運用及び予算編成を検討していく必要があります。また、保健所所管となることで生じる課題の精査も必要になります。		申請件数等から、事務移管による大きな影響はなかったものと思われます。ただし、必要書類の取得などの関係で、利用者の利便性の面で今後も保健所で事業を実施していく必要があるか検討する必要があります。また、申請件数は微増しているため、今後予算編成時には実績値を踏まえて慎重に検討する必要があります。		必要書類の取得などの関係で、利用者の利便性の面で今後も保健所で事業を実施していく必要があるか検討する必要があります。また、申請件数、申請額はともに微増しているため、今後予算編成時には実績値を踏まえて慎重に検討する必要があります。		
5年間の評価と総括	評価	(5年間の総括)					(数値目標がある場合) 達成率	94 %
	B	5年間の各年度の目標値総計940件に対して、実績値総計824件でした。達成率は88%であり、5年間の取組に対して、目標をおおむね達成したと言えます。横浜市立大学市民総合医療センター湯村医師(R2.2月18日県主催研修にて)によると、国の総人口の減少に伴い、今後は現状の申請数よりは増えないという考えがあります。茅ヶ崎市人口も令和2年度をピークに減少に転じるという推計があります。今後は、その推計も踏まえて、目標を定め、引き続き、必要な方を取りこぼすことなく、不妊治療の経済的負担を軽減できるように、各部署に協力してもらいながら周知を進めていく必要があります。						

茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗管理シート

施策名	不育症治療費助成事業				方向性	新規・拡大	掲載頁	P 66	
計画体系	基本目標	地域における子育ての支援			担当課	保健所 地域保健課			
	施策の方向	経済的負担の軽減							
関連計画	1		2						
	3		4						
施策内容と目標	不育治療の経済的負担を軽減するため、医療保険が適用とされない不育症治療に要する費用の一部を助成します(平成26年4月から実施)。								
指標	指標		現状値(H26)		目標値(R1)				
	助成件数		—		10件				
年度目標	H27	H28	H29	H30	R1				
	5件	5件	3件	3件	3件				
年度実績	4件	0件	1件	1件	2件				
年度評価	B	C	C	C	C				
取組状況	H27の取組内容		H28の取組内容		H29の取組内容		H30の取組内容		R1の取組内容
	不育症についての知識と理解を深める市民向け講演会を実施した。 (年度目標に対する取組以外)		不育症についての知識と理解を深める市民向け講演会を実施した。相談はあったが実際に申請にいたったケースはなく、適切な制度運用について課題を検討する必要がある。 (年度目標に対する取組以外)		市HPやリーフレット等を活用し、周知を図った。申請はあったものの、制度内容や周知方法について課題を検討し、次年度以降に改正を図ることとした。 (年度目標に対する取組以外)		市HPやリーフレット等を活用し、周知を図った。、制度内容や周知方法について課題を検討し、改正を図ることとした。 (年度目標に対する取組以外)		東京都内及び神奈川県内の医療機関に本事業の協力を依頼し、昨年度より協力医療機関が4施設増になった。 (年度目標に対する取組以外)
	次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		次年度に向けての検討事項		R1年度目標と指標の目標値(R1)の差異の理由
不育症の助成制度に関するリーフレットを活用し、市所管施設及び関係医療機関にて広く周知を図る必要がある。		不育症の助成制度に関するリーフレットを活用し、市所管施設及び関係医療機関にて広く周知を図る必要がある。次年度より講演会を実施しないこととなり、効果的な周知方法について再度検討する必要がある。		制度内容について再度検討し、助成額及び助成内容を変更した。周知方法については、保健所に事務移管になったことも併せて今後も検討していく。		協力医療機関を増やすべく、周産期母子医療センターに協力依頼する。保健所に事務移管後リーフレットを修正し、周知方法を定める。		課題を検討し、協力医療機関の増加、周知の強化を図っているが、指標どおりの目標設定が難しいため下方修正した。	
5年間の評価と総括	評価		(5年間の総括)				(数値目標がある場合) 達成率		20 %
	C	不育症治療費助成事業について、周知のためのホームページの掲載や公共施設、関係施設等にリーフレットの配布、また、医療機関に本事業の協力依頼することを実施してきたが、当初の目標値には至らなかった。問い合わせの件数も、年2～3件と少ない状況である。繊細な内容であるが故に、少ない問い合わせとも考えられるが、子育て支援の担当課と情報を共有しながら原因について考察する。							